

IP マルチキャスト

概要・基本設定	4
マルチキャスト経路制御プロトコル	4
DVMRP	5
基本設定	5
PIM	9
PIM-DM	9
PIM-SM	12
基本設定	12
RP を静的に設定する方法	16
IGMP	20
IGMP Snooping	23
MVR	25
構成要素	25
ソースポート	25
レシーバーポート	25
設定上の注意	26
基本設定	26
コマンドリファレンス編	29
機能別コマンド索引	29
ADD DVMRP INTERFACE	31
ADD IGMP FILTER	32
ADD IGMP SNOOPING ROUTER ADDRESS	33
ADD IP IGMP DESTINATION	34
ADD IP MVR	35
ADD PIM BSRCANDIDATE	36
ADD PIM INTERFACE	37
ADD PIM RPCANDIDATE	39
CREATE IGMP FILTER	41
CREATE IP IGMP DESTINATION	42
CREATE IP MVR	43
DELETE DVMRP INTERFACE	45
DELETE IGMP FILTER	46
DELETE IGMP SNOOPING ROUTER ADDRESS	47
DELETE IP IGMP DESTINATION	48

DELETE IP MVR	49
DELETE PIM BSRCANDIDATE	50
DELETE PIM INTERFACE	51
DELETE PIM RPCANDIDATE	52
DESTROY IGMP FILTER	53
DESTROY IP IGMP DESTINATION	54
DESTROY IP MVR	55
DISABLE DVMRP	56
DISABLE DVMRP DEBUG	57
DISABLE IGMP SNOOPING	58
DISABLE IP IGMP	59
DISABLE IP IGMP ALLGROUP	60
DISABLE IP IGMP INTERFACE	61
DISABLE IP MVR	62
DISABLE IP MVR DEBUG	63
DISABLE PIM	64
DISABLE PIM DEBUG	65
ENABLE DVMRP	66
ENABLE DVMRP DEBUG	67
ENABLE IGMP SNOOPING	68
ENABLE IP IGMP	69
ENABLE IP IGMP ALLGROUP	70
ENABLE IP IGMP INTERFACE	71
ENABLE IP MVR	72
ENABLE IP MVR DEBUG	73
ENABLE PIM	75
ENABLE PIM DEBUG	76
PURGE DVMRP	77
PURGE PIM	78
RESET DVMRP INTERFACE	79
RESET PIM INTERFACE	80
SET DVMRP INTERFACE	81
SET IGMP FILTER	82
SET IGMP SNOOPING ROUTERMODE	83
SET IGMP SNOOPING VLAN FASTLEAVE	85
SET IP IGMP	86
SET IP MVR	88
SET PIM	90
SET PIM BSRCANDIDATE	92
SET PIM INTERFACE	93
SET PIM LOG	95
SET PIM RPCANDIDATE	98

SHOW DVMRP	99
SHOW IGMP FILTER	104
SHOW IGMP Snooping	106
SHOW IGMP Snooping Router Address	109
SHOW IP IGMP	110
SHOW IP MVR	114
SHOW IP MVR Counter	116
SHOW PIM	118

概要・基本設定

本製品の IP マルチキャスト機能について概説します。

IP マルチキャストは、同じ内容のパケットを複数の IP ホスト（以下、ホスト）に効率よく送り届けるための仕組みです。1 台のサーバーから複数のクライアントにデータを配信するような場合、IP マルチキャストを利用するとネットワークの帯域を有効活用できます。

通常の IP 通信（ユニキャスト）ではパケットの宛先としてホスト（より正確にはホストのインターフェース）を指定しますが、IP マルチキャストでは宛先として「マルチキャストグループ」を指定します。各グループは、クラス D と呼ばれる特殊な IP アドレス（224.0.0.0～239.255.255.255）で表します（マルチキャストグループアドレス）。

これらのアドレス宛てに送信されたパケットは、マルチキャストルーターの協調動作によって、グループに所属するすべてのホスト（グループメンバーと呼びます）に配送されます。

各グループのメンバーは固定されておらず、個々のホストが任意のグループに参加・脱退できます。ホストがグループへの参加・脱退を表明したり、ルーターがグループのメンバーを問い合わせたりするためのプロトコルが IGMP（Internet Group Management Protocol）です。

また、マルチキャストルーター間の情報交換に使われるプロトコルをマルチキャスト経路制御プロトコルと呼び、DVMRP（Distance Vector Multicast Routing Protocol）や PIM-DM（Protocol Independent Multicast - Dense Mode）などがあります。

本製品は IGMP、DVMRP、PIM-DM、PIM-SM に対応しており、IP マルチキャストルーターとして動作させることができます。また、IP マルチキャストパケットのルーティングをハードウェアで処理できます。

マルチキャスト経路制御プロトコル

ホストグループのメンバー構成は常に変化するため、マルチキャストパケットの転送判断はおのずとダイナミック（動的）なものになります。

通常、ルーターはマルチキャスト経路制御プロトコルを通じて得た情報に基づいて、マルチキャストパケットを転送するかどうか判断します。本製品は以下のマルチキャスト経路制御プロトコルに対応しています。

- DVMRP（Distance Vector Multicast Routing Protocol）
- PIM-DM（Protocol Independent Multicast - Dense Mode）
- PIM-SM（Protocol Independent Multicast - Sparse Mode）

また、マルチキャストグループのメンバーを管理するためのプロトコル IGMP（Internet Group Management Protocol）および、VLAN 内に不要なマルチキャストパケットが流れないようにする IGMP Snooping にも対応しています。

各プロトコルの使用方法については、「DVMRP」、「PIM」、「IGMP」、「IGMP Snooping」をご覧ください。

DVMRP

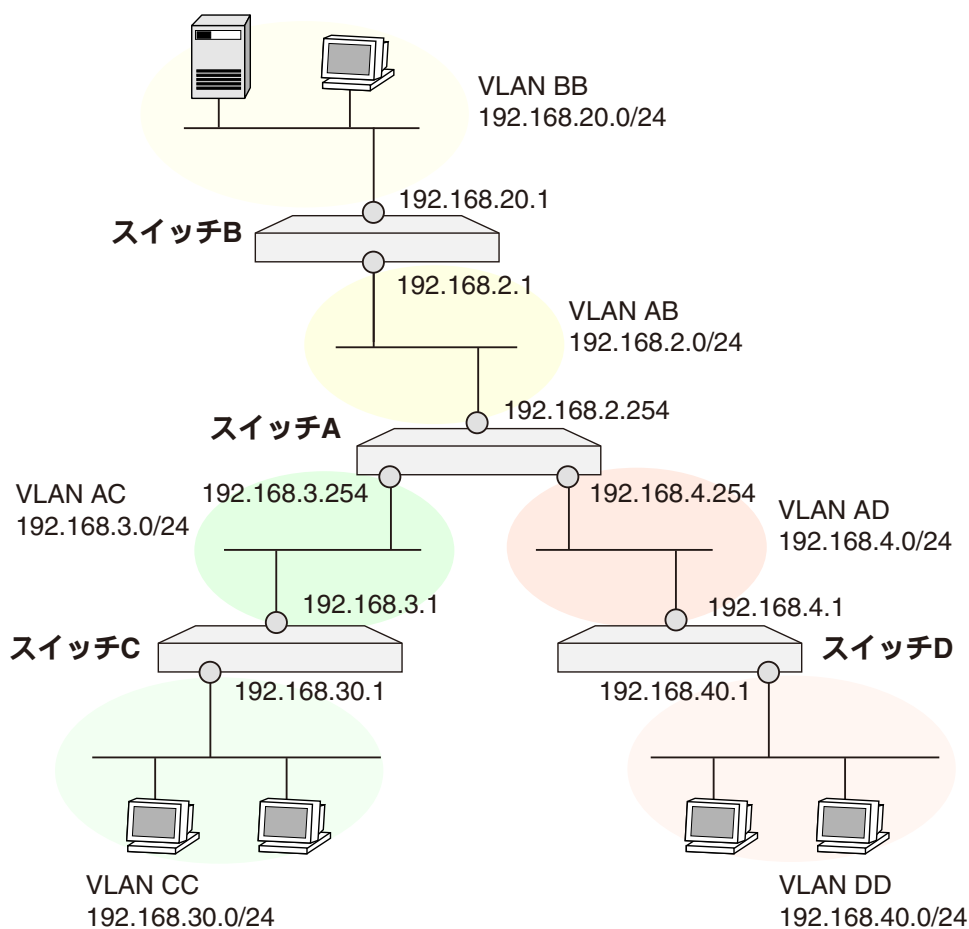
DVMRP (Distance Vector Multicast Routing Protocol) は、RPM (Reverse Path Multicasting) の技術を用いて、送信者 (始点) をルートとするマルチキャスト配送木を動的に構築、最適化するマルチキャスト経路制御プロトコルです。RIP をもとにした経路情報交換メカニズムによって、マルチキャスト用の経路表を独自に管理します。

基本設定

次のような構成のネットワークを例に、スイッチ A とスイッチ B (スイッチ C と D は B とほぼ同様の設定になります) の設定について解説します。

VLAN 名	VID	ネットワークアドレス	所属スイッチポート
VLAN AB	2	192.168.2.0/24	スイッチ A(1-8) \ スイッチ B (1)
VLAN AC	3	192.168.3.0/24	スイッチ A(9-16) \ スイッチ C (1)
VLAN AD	4	192.168.4.0/24	スイッチ A(17-24) \ スイッチ D (1)
VLAN BB	20	192.168.20.0/24	スイッチ B(2-24)
VLAN CC	30	192.168.30.0/24	スイッチ C(2-24)
VLAN DD	40	192.168.40.0/24	スイッチ D(2-24)

表 1:



スイッチ A の設定

1. VLAN の設定を行います。

```
CREATE VLAN=AB VID=2 ↵
CREATE VLAN=AC VID=3 ↵
CREATE VLAN=AD VID=4 ↵
ADD VLAN=AB PORT=1-8 ↵
ADD VLAN=AC PORT=9-16 ↵
ADD VLAN=AD PORT=17-24 ↵
```

2. IP モジュールを有効にします。

```
ENABLE IP ↵
```

3. VLAN インターフェースに IP アドレスを割り当てます。

```
ADD IP INT=vlan-AB IP=192.168.2.254 MASK=255.255.255.0 ↵
ADD IP INT=vlan-AC IP=192.168.3.254 MASK=255.255.255.0 ↵
ADD IP INT=vlan-AD IP=192.168.4.254 MASK=255.255.255.0 ↵
```

4. 各 VLAN インターフェースで RIP を有効にします。

```
ADD IP RIP INT=vlan-AB ↵
ADD IP RIP INT=vlan-AC ↵
ADD IP RIP INT=vlan-AD ↵
```

5. グループメンバー管理のため IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP ↵
```

6. 各 VLAN インターフェースで IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AB ↵
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AC ↵
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AD ↵
```

7. DVMRP を有効にします。

```
ENABLE DVMRP ↵
```

8. 各 VLAN インターフェースで DVMRP を有効にします。

```
ADD DVMRP INT=vlan-AB ↵
ADD DVMRP INT=vlan-AC ↵
ADD DVMRP INT=vlan-AD ↵
```

スイッチ B の設定 (C と D もほぼ同様です)

1. VLAN の設定を行います。

```
CREATE VLAN=AB VID=2 ↵
CREATE VLAN=BB VID=20 ↵
ADD VLAN=AB PORT=1 ↵
ADD VLAN=BB PORT=2-24 ↵
```

2. IP モジュールを有効にします。

```
ENABLE IP ↵
```

3. VLAN インターフェースに IP アドレスを割り当てます。

```
ADD IP INT=vlan-AB IP=192.168.2.1 MASK=255.255.255.0 ↵  
ADD IP INT=vlan-BB IP=192.168.20.1 MASK=255.255.255.0 ↵
```

4. 各 VLAN インターフェースで RIP を有効にします。

```
ADD IP RIP INT=vlan-AB ↵  
ADD IP RIP INT=vlan-BB ↵
```

5. グループメンバー管理のため IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP ↵
```

6. 各 VLAN インターフェースで IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AB ↵  
ENABLE IP IGMP INT=vlan-BB ↵
```

7. DVMRP を有効にします。

```
ENABLE DVMRP ↵
```

8. 各 VLAN インターフェースで DVMRP を有効にします。

```
ADD DVMRP INT=vlan-AB ↵  
ADD DVMRP INT=vlan-BB ↵
```

以上で設定は完了です。

DVMRP の設定を確認するには SHOW DVMRP コマンド (99 ページ) を使います。

IGMP の設定を確認するには SHOW IP IGMP コマンド (110 ページ) を使います。

PIM

PIM-DM

PIM-DM (Protocol Independent Multicast - Dense Mode) は、Reverse Path Multicasting (RPM) を利用したマルチキャスト用経路制御プロトコルです。PIM-DM はシンプルさに重きを置いたプロトコルであり、広い帯域が利用可能でグループのメンバーが密集しているような環境に適しています。PIM-DM では、明示的に配送停止の要求を受けるまでは、隣接するすべてのルーターにマルチキャストトラフィックを転送します。配送経路は送信者 (始点) をルートとするツリー (始点木) 状となります。

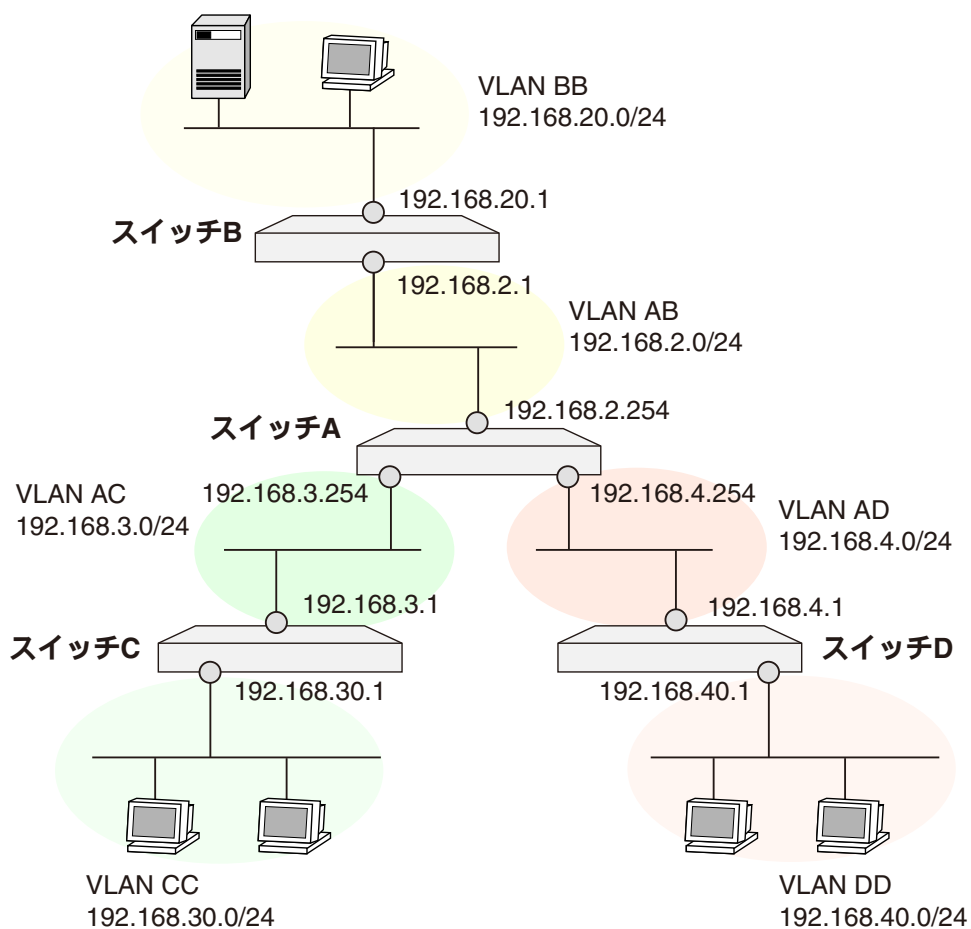
PIM-DM は DVMRP とよく似ていますが、マルチキャスト用の経路表を持たずにユニキャストの経路表を流用する点と、受信インターフェース以外のすべてのインターフェースにパケットを転送する点が異なります (DVMRP は「下流」と判断されるインターフェースにだけ出力します)。

また、後述する PIM-SM とは、名前と一部の制御メッセージが似ているだけで、まったく別のプロトコルです。PIM-DM は、PIM-SM とは異なり、ランデブーポイント (RP) やブートストラップルーター (BSR) といった特殊な役割を持ったルーターを使用しません。

ここでは、次のような構成のネットワークを例に、スイッチ A とスイッチ B (スイッチ C と D は B とほぼ同様の設定になります) の設定について解説します。PIM-DM では、PIM-SM とは異なり BSR や RP といった特殊なルーターは使いません。基本的にすべてのルーター (スイッチ) で同じ設定となります。

VLAN 名	VID	ネットワークアドレス	所属スイッチポート
VLAN AB	2	192.168.2.0/24	スイッチ A(1-8) スイッチ B (1)
VLAN AC	3	192.168.3.0/24	スイッチ A(9-16) スイッチ C (1)
VLAN AD	4	192.168.4.0/24	スイッチ A(17-24) スイッチ D (1)
VLAN BB	20	192.168.20.0/24	スイッチ B(2-24)
VLAN CC	30	192.168.30.0/24	スイッチ C(2-24)
VLAN DD	40	192.168.40.0/24	スイッチ D(2-24)

表 2:



スイッチ A の設定

1. VLAN の設定を行います。

```
CREATE VLAN=AB VID=2 ↵
CREATE VLAN=AC VID=3 ↵
CREATE VLAN=AD VID=4 ↵
ADD VLAN=AB PORT=1-8 ↵
ADD VLAN=AC PORT=9-16 ↵
ADD VLAN=AD PORT=17-24 ↵
```

2. IP モジュールを有効にします。

```
ENABLE IP ↵
```

3. VLAN インターフェースに IP アドレスを割り当てます。

```
ADD IP INT=vlan-AB IP=192.168.2.254 MASK=255.255.255.0 ↵
ADD IP INT=vlan-AC IP=192.168.3.254 MASK=255.255.255.0 ↵
ADD IP INT=vlan-AD IP=192.168.4.254 MASK=255.255.255.0 ↵
```

4. 各 VLAN インターフェースで RIP を有効にします。

```
ADD IP RIP INT=vlan-AB ↵
ADD IP RIP INT=vlan-AC ↵
ADD IP RIP INT=vlan-AD ↵
```

5. グループメンバー管理のため IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP ↵
```

6. 各 VLAN インターフェースで IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AB ↵
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AC ↵
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AD ↵
```

7. PIM を有効にします。

```
ENABLE PIM ↵
```

8. 各 VLAN インターフェースで PIM-DM を有効にします。

```
ADD PIM INT=vlan-AB MODE=DENSE ↵
ADD PIM INT=vlan-AC MODE=DENSE ↵
ADD PIM INT=vlan-AD MODE=DENSE ↵
```

スイッチ B の設定 (C と D もほぼ同様です)

1. VLAN の設定を行います。

```
CREATE VLAN=AB VID=2 ↵
CREATE VLAN=BB VID=20 ↵
ADD VLAN=AB PORT=1 ↵
ADD VLAN=BB PORT=2-24 ↵
```

2. IP モジュールを有効にします。

```
ENABLE IP ↵
```

3. VLAN インターフェースに IP アドレスを割り当てます。

```
ADD IP INT=vlan-AB IP=192.168.2.1 MASK=255.255.255.0 ↵
ADD IP INT=vlan-BB IP=192.168.20.1 MASK=255.255.255.0 ↵
```

4. 各 VLAN インターフェースで RIP を有効にします。

```
ADD IP RIP INT=vlan-AB ↵
ADD IP RIP INT=vlan-BB ↵
```

5. グループメンバー管理のため IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP ↵
```

6. 各 VLAN インターフェースで IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AB ↵
ENABLE IP IGMP INT=vlan-BB ↵
```

7. PIM を有効にします。

```
ENABLE PIM ↵
```

8. 各 VLAN インターフェースで PIM-DM を有効にします。

```
ADD PIM INT=vlan-AB MODE=DENSE ↵
ADD PIM INT=vlan-BB MODE=DENSE ↵
```

以上で設定は完了です。

PIM の設定を確認するには SHOW PIM コマンド (118 ページ) を使います。

IGMP の設定を確認するには SHOW IP IGMP コマンド (110 ページ) を使います。

PIM-SM

PIM-SM (Protocol Independent Multicast - Sparse Mode) は、DVMRP や PIM-DM とは異なり、明示的に要求を出したネットワークにだけトラフィックを届ける Sparse モードのマルチキャスト経路制御プロトコルです。このプロトコルは、グループのメンバーがネットワーク上に広くまばらに分散しているような環境で最適な動作をするよう設計されています。グループへの参加を表明していないルーターにトラフィックが配送されることは原則としてありません。これを実現するため、グループのトラフィックをとりまとめる RP (Rendezvous Point) というセンタールーターを用意し、RP を起点とする共有木を作成してトラフィックを配送します。

基本設定

PIM-SM では、次のような役割のルーターが必要です。

DR (Designated Router : 代表ルーター : 各サブネットに 1 台)

各サブネットにおいて、実際にマルチキャストパケットの転送を担当するルーターを DR (代表ルーター) といいます。PIM-SM では、マルチキャストクライアントが存在する IP サブネットごとに DR (代表ルーター) が必要です。サブネット内に複数の PIM ルーターが存在する場合、インターフェースに設定された DRPRIORITY の値がもっとも大きなルーターが DR となります。DRPRIORITY が同じときは、IP アドレスの大きなルーターが DR になります。同一サブネット上の PIM ルーターは定期的に Hello パケットを送信して互いの状態を監視しており、DR がダウンした場合は次点のルーターが DR になります。

RP (Rendezvous Point : ランデブーポイント : 各マルチキャストグループに 1 台)

PIM-SM ネットワークの中核をなす重要なルーター。マルチキャストグループごとに用意します。マルチキャストパケットの送信者と受信者 (の DR) は、送受信を始めるにあたって RP にメッセージを送り、このような送信者・受信者が存在するということを伝えます。最初、送信者はマルチキャストパケットを RP にユニキャストします。すると、RP は通知のあった受信者に対してのみ、パケットをマルチキャストで転送します。RP の候補 (C-RP) が複数存在する場合、PRIORITY 値のもっとも小さいルーターが RP に選出されます。

BSR (Bootstrap Router : ブートストラップルーター : PIM-SM ネットワークに 1 台)

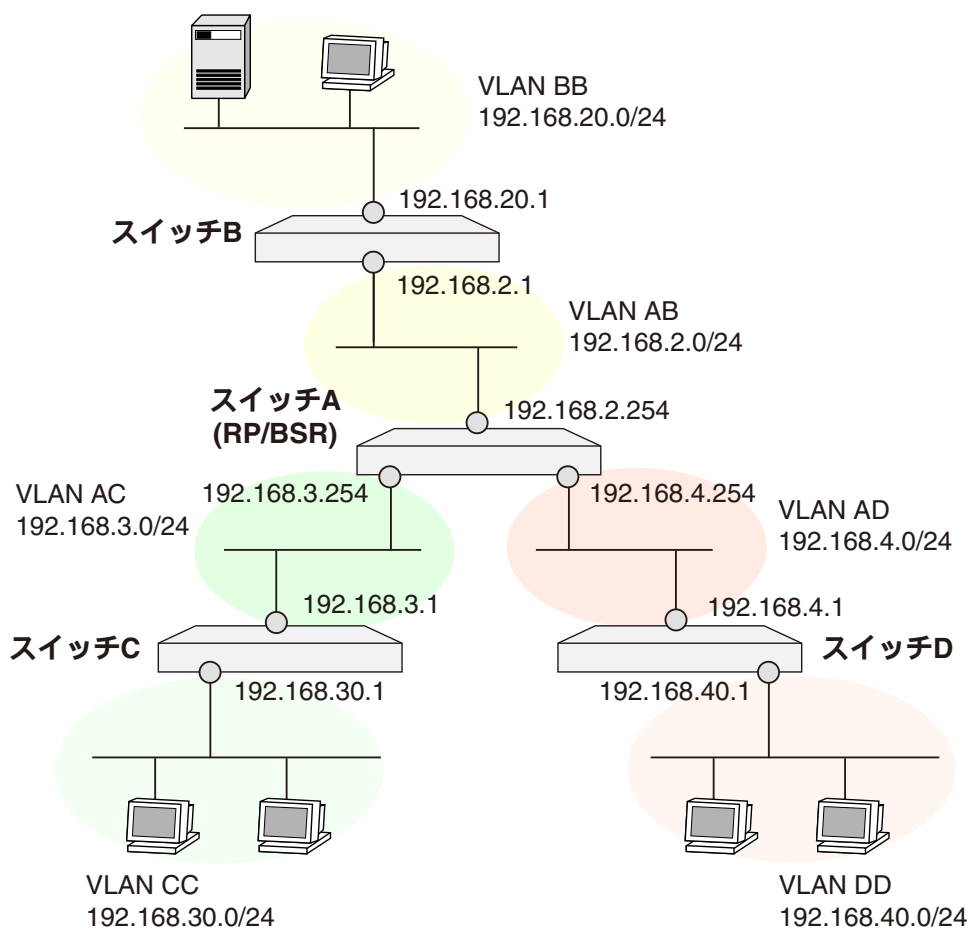
PIM-SM ネットワークにおいて、RP 候補とマルチキャストグループの一覧、および、各グループの RP 一覧を管理・広告するルーター。複数の BSR 候補 (C-BSR) が存在するときは、PREFERENCE 値のもっとも大きいルーターが BSR に選出されます。

ここでは、次のような構成のネットワークを例に、スイッチ A (RP 兼 BSR) とスイッチ B (スイッチ C と D は B とほぼ同様の設定になります) の設定について解説します。

この例では、スイッチ A に BSR (Bootstrap Router) と RP (Rendezvous Point) を兼務させます。RP はマルチキャストグループごとに用意する必要があります。この例では、RP (スイッチ A) に 239.255.0.0 ~ 239.255.0.255 の範囲のマルチキャストトラフィックを担当させます。

VLAN 名	VID	ネットワークアドレス	所属スイッチポート
VLAN AB	2	192.168.2.0/24	スイッチ A(1-8) スイッチ B (1)
VLAN AC	3	192.168.3.0/24	スイッチ A(9-16) スイッチ C (1)
VLAN AD	4	192.168.4.0/24	スイッチ A(17-24) スイッチ D (1)
VLAN BB	20	192.168.20.0/24	スイッチ B(2-24)
VLAN CC	30	192.168.30.0/24	スイッチ C(2-24)
VLAN DD	40	192.168.40.0/24	スイッチ D(2-24)

表 3:



スイッチ A (RP 兼 BSR) の設定

1. VLAN の設定を行います。

```
CREATE VLAN=AB VID=2 ↵
CREATE VLAN=AC VID=3 ↵
CREATE VLAN=AD VID=4 ↵
ADD VLAN=AB PORT=1-8 ↵
ADD VLAN=AC PORT=9-16 ↵
ADD VLAN=AD PORT=17-24 ↵
```

2. IP モジュールを有効にします。

```
ENABLE IP ↵
```

3. VLAN インターフェースに IP アドレスを割り当てます。

```
ADD IP INT=vlan-AB IP=192.168.2.254 MASK=255.255.255.0 ↵
ADD IP INT=vlan-AC IP=192.168.3.254 MASK=255.255.255.0 ↵
ADD IP INT=vlan-AD IP=192.168.4.254 MASK=255.255.255.0 ↵
```

4. 各 VLAN インターフェースで RIP を有効にします。

```
ADD IP RIP INT=vlan-AB ↵
ADD IP RIP INT=vlan-AC ↵
ADD IP RIP INT=vlan-AD ↵
```

5. グループメンバー管理のため IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP ↵
```

6. 各 VLAN インターフェースで IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AB ↵
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AC ↵
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AD ↵
```

7. PIM を有効にします。

```
ENABLE PIM ↵
```

8. PIM-SM インターフェースを作成します。

```
ADD PIM INT=vlan-AB MODE=SPARSE ↵
ADD PIM INT=vlan-AC MODE=SPARSE ↵
ADD PIM INT=vlan-AD MODE=SPARSE ↵
```

9. BSR (ブートストラップルーター) として動作するように設定します。PIM-SM ネットワークには、最低 1 つの BSR 候補が必要です。

```
ADD PIM BSRCANDIDATE ↵
```

10. マルチキャストグループアドレス 239.255.0.0 ~ 239.255.0.255 の RP (ランデブーポイント) として動作するように設定します。PIM-SM ネットワークでは、マルチキャストグループごとに最低 1 つの RP 候補が必要です。

```
ADD PIM RPCANDIDATE GROUP=239.255.0.0 MASK=255.255.255.0 ↵
```

スイッチ B の設定 (C と D もほぼ同様です)

1. VLAN の設定を行います。

```
CREATE VLAN=AB VID=2 ↵
CREATE VLAN=BB VID=20 ↵
ADD VLAN=AB PORT=1 ↵
ADD VLAN=BB PORT=2-24 ↵
```

2. IP モジュールを有効にします。

```
ENABLE IP ↵
```

3. VLAN インターフェースに IP アドレスを割り当てます。

```
ADD IP INT=vlan-AB IP=192.168.2.1 MASK=255.255.255.0 ↵
ADD IP INT=vlan-BB IP=192.168.20.1 MASK=255.255.255.0 ↵
```

4. 各 VLAN インターフェースで RIP を有効にします。

```
ADD IP RIP INT=vlan-AB ↵
ADD IP RIP INT=vlan-BB ↵
```

5. グループメンバー管理のため IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP ↵
```

6. 各 VLAN インターフェースで IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AB ↵
ENABLE IP IGMP INT=vlan-BB ↵
```

7. PIM を有効にします。

```
ENABLE PIM ↵
```

8. PIM-SM インターフェースを作成します。

```
ADD PIM INT=vlan-AB MODE=SPARSE ↵
ADD PIM INT=vlan-BB MODE=SPARSE ↵
```

以上で設定は完了です。

PIM の設定を確認するには SHOW PIM コマンド (118 ページ) を使います。

IGMP の設定を確認するには SHOW IP IGMP コマンド (110 ページ) を使います。

RP を静的に設定する方法

本製品では、BSR を使わずに、RP を静的設定する方法もサポートしています。

ここでは、前の例と同じ構成のネットワークを例に、スイッチ A (RP) とスイッチ B (スイッチ C と D は B とほぼ同様の設定になります) の設定について解説します。

この例では、すべてのスイッチに対し、スイッチ A が RP (Rendezvous Point) であると、静的に設定します。BSR (Bootstrap Router) は使用しません。

RP はマルチキャストグループごとに用意する必要があります。この例では、RP (スイッチ A) に 239.255.0.0 ~ 239.255.0.255 の範囲のマルチキャストトラフィックを担当させます。

スイッチ A (RP) の設定

1. VLAN の設定を行います。

```
CREATE VLAN=AB VID=2 ↵
CREATE VLAN=AC VID=3 ↵
CREATE VLAN=AD VID=4 ↵
ADD VLAN=AB PORT=1-8 ↵
ADD VLAN=AC PORT=9-16 ↵
ADD VLAN=AD PORT=17-24 ↵
```

2. IP モジュールを有効にします。

```
ENABLE IP ↵
```

3. VLAN インターフェースに IP アドレスを割り当てます。

```
ADD IP INT=vlan-AB IP=192.168.2.254 MASK=255.255.255.0 ↵
ADD IP INT=vlan-AC IP=192.168.3.254 MASK=255.255.255.0 ↵
ADD IP INT=vlan-AD IP=192.168.4.254 MASK=255.255.255.0 ↵
```

4. 各 VLAN インターフェースで RIP を有効にします。

```
ADD IP RIP INT=vlan-AB ↵
ADD IP RIP INT=vlan-AC ↵
ADD IP RIP INT=vlan-AD ↵
```

5. グループメンバー管理のため IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP ↵
```

6. 各 VLAN インターフェースで IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AB ↵
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AC ↵
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AD ↵
```

7. PIM を有効にします。

```
ENABLE PIM ↵
```

8. PIM-SM インターフェースを作成します。

```
ADD PIM INT=vlan-AB MODE=SPARSE ↵
```

```
ADD PIM INT=vlan-AC MODE=SPARSE ↵
```

```
ADD PIM INT=vlan-AD MODE=SPARSE ↵
```

9. マルチキャストグループアドレス 239.255.0.0 ~ 239.255.0.255 の RP (ランデブーポイント) として、スイッチ A を指定します。RPCANDIDATE には、スイッチ A の PIM インターフェースのうち、どれか 1 つの IP アドレスを指定します。

```
ADD PIM RPCANDIDATE=192.168.2.254 GROUP=239.255.0.0  
MASK=255.255.255.0 ↵
```

スイッチ B の設定 (C と D もほぼ同様です)

1. VLAN の設定を行います。

```
CREATE VLAN=AB VID=2 ↵
```

```
CREATE VLAN=BB VID=20 ↵
```

```
ADD VLAN=AB PORT=1 ↵
```

```
ADD VLAN=BB PORT=2-24 ↵
```

2. IP モジュールを有効にします。

```
ENABLE IP ↵
```

3. VLAN インターフェースに IP アドレスを割り当てます。

```
ADD IP INT=vlan-AB IP=192.168.2.1 MASK=255.255.255.0 ↵
```

```
ADD IP INT=vlan-BB IP=192.168.20.1 MASK=255.255.255.0 ↵
```

4. 各 VLAN インターフェースで RIP を有効にします。

```
ADD IP RIP INT=vlan-AB ↵
```

```
ADD IP RIP INT=vlan-BB ↵
```

5. グループメンバー管理のため IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP ↵
```

6. 各 VLAN インターフェースで IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP INT=vlan-AB ↵  
ENABLE IP IGMP INT=vlan-BB ↵
```

7. PIM を有効にします。

```
ENABLE PIM ↵
```

8. PIM-SM インターフェースを作成します。

```
ADD PIM INT=vlan-AB MODE=SPARSE ↵  
ADD PIM INT=vlan-BB MODE=SPARSE ↵
```

9. マルチキャストグループアドレス 239.255.0.0 ~ 239.255.0.255 の RP (ランデブーポイント) として、スイッチ A (192.168.2.254) を指定します。

```
ADD PIM RPCANDIDATE=192.168.2.254 GROUP=239.255.0.0  
MASK=255.255.255.0 ↵
```

以上で設定は完了です。

PIM の設定を確認するには SHOW PIM コマンド (118 ページ) を使います。

IGMP の設定を確認するには SHOW IP IGMP コマンド (110 ページ) を使います。

IGMP

IGMP (Internet Group Management Protocol) は、LAN 上のマルチキャスト対応ルーターとホストがメッセージを交換しあい、LAN 上にどのマルチキャストグループのメンバーがいるかを把握するためのプロトコルです。

- IGMP はライセンスなしでも使用できますが、本機能のサポートを受けるためには別売のフィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要です。

ルーターは IGMP を通じて得た情報をもとに、他のルーターから受け取ったマルチキャストパケットを配下の LAN に転送するかどうか判断したり、他のルーターに対して特定グループ宛てのパケットを配送してくれるよう依頼したりします。

通常、IGMP はマルチキャスト経路制御プロトコル (DVMRP など) と組み合わせて使います。デフォルトでは、IGMP は無効になっています。

本製品を IGMP Querier として動作させるための設定手順は次のとおりです。IGMP を使用するには、IP の基本設定が必要です。以下の説明では、IP インターフェースの設定までは完了しているものと仮定します。

1. IGMP を有効にします。

```
ENABLE IP IGMP ↵
```

2. IGMP を使用するインターフェース (VLAN) を指定します。これにより指定したインターフェースで IGMP メッセージの送受信が行われるようになります。

```
ENABLE IP IGMP INTERFACE=vlan-orange ↵
```

IGMP に関する情報を確認するには SHOW IP IGMP コマンド (110 ページ) を使います。

IGMP タイマーを変更するには SET IP IGMP コマンド (86 ページ) を使います。ただし、タイマーはほとんどの環境で動作するようデフォルト値が設定されているため、通常変更する必要はありません。

IGMP を無効にするには DISABLE IP IGMP コマンド (59 ページ) を使います。

特定インターフェースで IGMP を無効にするには DISABLE IP IGMP INTERFACE コマンド (61 ページ) を使います。

IGMP/IGMP Snooping で以下の範囲の IP アドレスは、予約されたマルチキャスト MAC アドレスにマッピングされるため、グループアドレスとして利用できません。

IP アドレス	MAC アドレス
224.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
224.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
225.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
225.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
226.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
226.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx

227.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
227.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
228.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
228.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
229.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
229.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
230.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
230.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
231.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
231.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
232.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
232.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
233.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
233.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
234.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
234.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
235.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
235.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
236.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
236.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
237.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
237.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
238.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
238.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
239.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
239.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx

表 4: マルチキャスト用 IP アドレスと MAC アドレスの対応表

また、同一セグメント（VLAN）内では下位 23 ビットが異なるマルチキャストグループ（IP）アドレスを使用してください。

たとえば、229.10.10.10（MAC アドレス：01-00-5E-0A-0A-0A）と 230.74.10.10（MAC アドレス：01-00-5E-4A-0A-0A）は同一セグメント内で利用できますが、229.10.10.10（MAC アドレス：01-00-5E-0A-0A-0A）と 229.138.10.10（MAC アドレス：01-00-5E-0A-0A-0A）は下位 23 ビットが等しく、同じ MAC アドレスにマッピングされるため、同一セグメント内では利用できません。

スイッチポートごとに Join 可能なマルチキャストグループを制限するには、IGMP フィルター機能を使います。

IGMP フィルター機能を利用するには、IGMP フィルターを作成して、スイッチポートに適用します。以下、IGMP フィルターの具体的な使用手順を示します。

1. IGMP フィルターを作成します（CREATE IGMP FILTER コマンド（41 ページ））。

```
CREATE IGMP FILTER=1 ↵
```

2. IGMP フィルターにエントリー（ルール）を追加します（ADD IGMP FILTER コマンド（32 ページ））。各エントリーでは、対象グループ（範囲指定も可）とアクション（許可・拒否）を指定してください。IGMP フィルターは、エントリー番号の小さい順に検索され、最初にマッチしたエントリーでアクションが適用されます。

※ IGMP フィルターの末尾には、すべてのグループを拒否（EXCLUDE）する暗黙のエントリーが存在することに注意してください。

特定のグループだけを許可したい場合（デフォルト拒否）は、許可するグループだけを列挙します。たとえば、239.1.4.7 と 239.1.4.201 にしか Join できないようにするには、次のように設定します。

```
ADD IGMP FILTER=1 GROUPADDRESS=239.1.4.7 ACTION=INCLUDE ↵
ADD IGMP FILTER=1 GROUPADDRESS=239.1.4.201 ACTION=INCLUDE ↵
```

一方、特定のグループだけを拒否したい場合（デフォルト許可）は、最初に拒否するグループを列挙した上で、最終エントリーですべてのグループを許可するよう設定します。たとえば、239.2.5.8 にだけ Join できないようにするには、次のように設定します。

```
ADD IGMP FILTER=1 GROUPADDRESS=239.2.5.8 ACTION=EXCLUDE ↵
ADD IGMP FILTER=1 GROUPADDRESS=224.0.0.0-239.255.255.255
ACTION=INCLUDE ↵
```

3. IGMP フィルターをスイッチポートに適用します（SET SWITCH PORT コマンド（「スイッチング」の 270 ページ））。

たとえば、スイッチポート 4 に IGMP フィルター「1」を適用するには、次のようにします。

```
SET SWITCH PORT=4 IGMPFILTER=1 ↵
```

設定は以上です。

スイッチポートごとに Join 可能なマルチキャストグループの数を制限するには、SET SWITCH PORT コマンド（「スイッチング」の 270 ページ）の IGMPMAXGROUP パラメーター（グループ数の指定）と IGMPACTION パラメーター（制限に達したときの処理）を使います。

```
SET SWITCH PORT=1 IGMPMAXGROUP=5 ↵
```

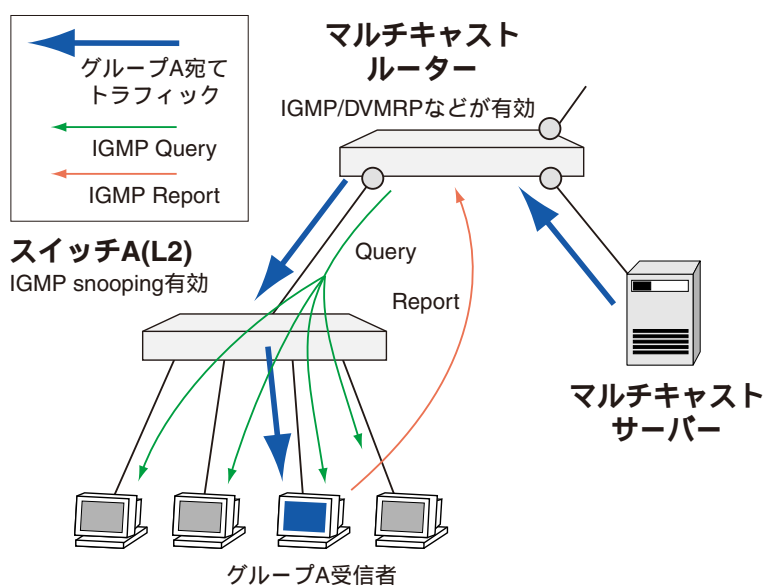
IGMP Snooping

IGMP Snooping は、VLAN 環境において不要なマルチキャストトラフィックをフィルタリングする機能です。

IGMP Snooping を使わない場合、マルチキャストパケットはサブネット（VLAN）単位で配送されます。すなわち、VLAN 内にグループメンバーが 1 台でもいると、同一 VLAN 内のすべてのポートにパケットが転送されてしまいます。

IGMP Snooping を有効にすると、本製品は各ポートで交換される IGMP メッセージ（Membership Report、Query、Leave）を監視して、メンバーの存在するポートにだけ該当グループのトラフィックを配送するようになります。

IGMP Snooping は、ご購入時の状態（まったく設定を行っていない状態）で有効になっています。IGMP Snooping はレイヤー 2 の機能であるため、本製品をレイヤー 2 スイッチとして使用する場合でも利用できます。次図のように、上位にマルチキャスト対応の IP ルーターが存在する場合、特別な設定をすることなく IGMP Snooping を利用できます。この場合、IP や IGMP の設定は必要ありません。



IGMP Snooping の状態は SHOW IGMP Snooping コマンド（106 ページ）で確認できます。

IGMP Snooping を無効にするには、DISABLE IGMP Snooping コマンド（58 ページ）を実行します。再度有効にするには、ENABLE IGMP Snooping コマンド（68 ページ）を実行します。

- IGMP Snooping は内部的にハードウェア IP フィルターを利用して実現されています。そのため、IGMP Snooping を有効にすると、ハードウェア IP フィルターも自動的に有効化されます。

IGMP/IGMP Snooping で以下の範囲の IP アドレスは、予約されたマルチキャスト MAC アドレスにマッピングされるため、グループアドレスとして利用できません。

IP アドレス	MAC アドレス
224.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
224.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
225.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
225.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
226.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
226.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
227.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
227.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
228.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
228.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
229.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
229.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
230.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
230.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
231.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
231.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
232.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
232.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
233.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
233.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
234.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
234.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
235.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
235.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
236.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
236.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
237.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
237.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
238.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
238.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
239.0.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx
239.128.0.0/24	01-00-5E-00-00-xx

表 5: マルチキャスト用 IP アドレスと MAC アドレスの対応表

また、同一セグメント（VLAN）内では下位 23 ビットが異なるマルチキャストグループ（IP）アドレスを使用してください。

たとえば、229.10.10.10（MAC アドレス：01-00-5E-0A-0A-0A）と 230.74.10.10（MAC アドレス：01-00-5E-4A-0A-0A）は同一セグメント内で利用できますが、229.10.10.10（MAC アドレス：01-00-5E-0A-0A-0A）と 229.138.10.10（MAC アドレス：01-00-5E-0A-0A-0A）は下位 23 ビットが等しく、同じ MAC アドレスにマッピングされるため、同一セグメント内では利用できません。

MVR

MVR (Multicast VLAN Registration) は、マルチキャスト VLAN という特殊な VLAN を定義して、特定グループ宛てのマルチキャストトラフィックを効率的に配信・制御する機能です。

- ✎ MVR はライセンスなしでも使用できますが、本機能のサポートを受けるためには別売のフィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要です。

マルチキャスト VLAN は、送信者を接続するソースポートと受信者を接続するレシーバーポートから構成される特殊な VLAN です。マルチキャスト VLAN には、あらかじめ設定したグループ宛ての IP マルチキャストパケットだけが配信されます。配信は原則としてソースポートからレシーバーポートの方向にのみ行われます。

通常のマルチキャストルーティングでは、受信可能なマルチキャストグループをポートごとに制限することができませんが、マルチキャスト VLAN では特定のポートに対し、あらかじめ設定したグループ宛てのパケットだけを配信することが可能です。

ここでは、MVR 機能の基本的な設定方法について説明します。

構成要素

マルチキャスト VLAN は、以下に示す 2 種類のポートから構成されます。

ソースポート

ソースポートは、マルチキャストトラフィックの送信者にもっとも近いポート、すなわち、特定のマルチキャストストリームにおける「上流」ポートです。ソースポートには、直接配信サーバーが接続されているケースもあれば、上流のマルチキャストルーターが接続されているケースもあり得ます。

マルチキャスト VLAN では、あらかじめ設定されたグループ宛てのマルチキャストパケットをソースポートで受信すると、レシーバーポートのうち、受信者の存在するポートすべてに出力します。

あらかじめ設定したグループ以外のマルチキャストパケットをソースポートで受信した場合は、レシーバーポートには出力しません。

マルチキャスト VLAN では、ソースポートからレシーバーポートの方向にのみ、マルチキャストパケットが転送されます。レシーバーポートで受信したマルチキャストパケットがソースポートから出力されることはありません。

ただし、マルチキャスト VLAN が Dynamic モード (デフォルト) で動作している場合、レシーバーポートで受信した、設定済みグループへの IGMP Report メッセージはソースポートから出力されます。一方、Compatible モードでは、レシーバーポートで受信した IGMP Report メッセージはソースポートから出力されません。

ソースポートは複数あってもかまいませんが、すべて同一の VLAN に所属している必要があります。また、レシーバーポートとは異なる VLAN に所属している必要があります。

レシーバーポート

レシーバーポートは、マルチキャストトラフィックの受信者が接続されているポートです。

あらかじめ設定されたグループへの IGMP Report メッセージをレシーバーポートで受信すると、本製品は同グループのメンバーリストに該当ポートを登録し、以後ソースポートで受信した同グループのトラフィックを該当ポートから出力するようになります。一方、メンバーリストに登録されていないレシーバーポートには出力しません。

レシーバーポートで IGMP Leave メッセージを受信した場合は、グループのメンバーリストから該当ポートを削除し、同グループのトラフィックを該当ポートから出力するのをやめます。

レシーバーポートは複数の VLAN に散在していてもかまいませんが、ソースポートとは異なる VLAN に所属している必要があります。

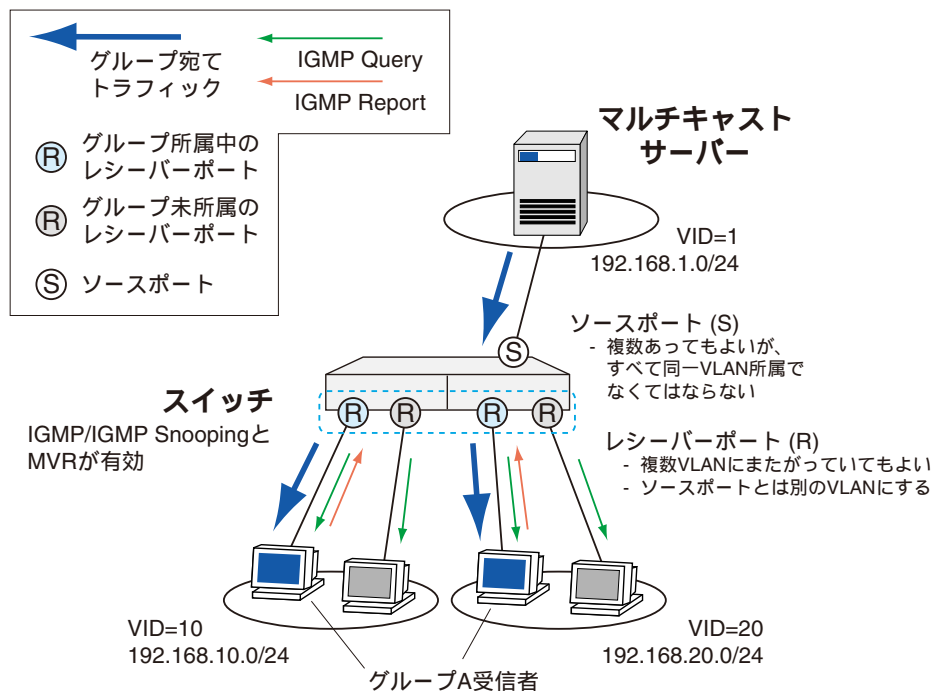
設定上の注意

MVR の設定時には、下記の項目に注意してください。

- マルチキャスト VLAN の数は、システム全体で 5 個までです。
- マルチキャスト VLAN は、ソースポートが所属する VLAN の VLAN ID で識別します。
- ソースポートはすべて同一 VLAN に所属している必要があります。また、レシーバーポートと同じ VLAN に所属してはなりません。
- レシーバーポートは複数の VLAN に散在していてもかまいませんが、ソースポートと同じ VLAN に所属してはなりません。
- タグ付きポートを、ソースポートまたはレシーバーポートとして指定することはできません。
- ポートを複数のマルチキャスト VLAN に所属させることはできません。
- マルチキャスト VLAN が扱うことのできるマルチキャストグループの数は、システム全体で 256 個までです。
- マルチキャスト VLAN が扱うマルチキャストグループとして、制御用マルチキャストアドレス (224.0.0.x) を指定しないでください。
- MVR 使用時は、通常のマルチキャスト経路制御プロトコル (DVMRP や PIM) は使用できません。併用しないようにしてください。
- MVR を有効化するには、あらかじめ IGMP と IGMP Snooping を有効化しておく必要があります。

基本設定

ここでは、次のような構成を例に、MVR の基本的な設定方法を示します。



1. VLAN の設定をします。最低限ソースポートとレシーバーポートは VLAN を分ける必要があります。ここでは、ソースポート用の VLAN として VLAN default (VID=1) を、レシーバーポート用 VLAN として VLAN A (VID=10) と VLAN B (VID=20) を使用します。

```
CREATE VLAN=A VID=10 ↵
CREATE VLAN=B VID=20 ↵
ADD VLAN=A PORT=9-16 ↵
ADD VLAN=B PORT=17-24 ↵
```

2. IP の基本設定をします。

```
ADD IP INT=vlan1 IP=192.168.1.1 MASK=255.255.255.0 ↵
ADD IP INT=vlan10 IP=192.168.10.1 MASK=255.255.255.0 ↵
ADD IP INT=vlan20 IP=192.168.20.1 MASK=255.255.255.0 ↵
```

3. IGMP の設定をします。MVR を使用するには、IGMP を有効化しておく必要があります。また、レシーバーポートの所属 VLAN には IGMP Querier が必要です。ここでは、レシーバーポートの所属する vlan10 と vlan20 において、本製品が IGMP Querier になるよう設定します。

```
ENABLE IP IGMP ↵
ENABLE IP IGMP INT=vlan10 ↵
ENABLE IP IGMP INT=vlan20 ↵
```

4. MVR の設定をします。最初に MVR モジュールを有効にします。

```
ENABLE IP MVR ↵
```

＼ MVR を有効化するには、あらかじめ IGMP Snooping と IGMP を有効化しておく必要があります。IGMP Snooping はデフォルト有効ですが、IGMP はデフォルト無効なので明示的に有効化する必要があります。

＼ MVR とマルチキャスト経路制御プロトコル (DVMRP や PIM) は併用できません。MVR を使用するとき、DVMRP や PIM は無効に設定してください。

5. 次にマルチキャスト VLAN を作成し、マルチキャストパケットの配信範囲 (ソースポートとレシーバーポート) を指定します。VLAN パラメーターには、ソースポートが所属する VLAN の VLAN ID を指定してください。作成したマルチキャスト VLAN は、これ以降、ソースポートの所属 VLAN ID (ここでは 1) で識別されます。

```
CREATE IP MVR VLAN=1 SOURCEPORT=1-8 RECEIVERPORT=9-24 ↵
```

＼ マルチキャスト VLAN は 5 つまで作成できます。ただし、ポートを複数のマルチキャスト VLAN に所属させることはできません。

6. 最後に、マルチキャスト VLAN 内に配信するマルチキャストグループアドレスを指定します。ここでは、239.100.100.5 宛てのマルチキャストトラフィックだけを対象とします。

```
ADD IP MVR VLAN=1 GROUPADDRESS=239.100.100.5 ↵
```

＼ 制御用マルチキャストグループ (224.0.0.x) は指定しないでください。

＼ マルチキャスト VLAN 内に配信可能なグループ数は、筐体全体で 256 グループまでです。

MVR の全般的情報は SHOW IP MVR コマンド (114 ページ) で確認できます。

MVR のカウンターは SHOW IP MVR COUNTER コマンド (116 ページ) で確認できます。

コマンドリファレンス編

機能別コマンド索引

DVMRP

ADD DVMRP INTERFACE	31
DELETE DVMRP INTERFACE	45
DISABLE DVMRP	56
DISABLE DVMRP DEBUG	57
ENABLE DVMRP	66
ENABLE DVMRP DEBUG	67
PURGE DVMRP	77
RESET DVMRP INTERFACE	79
SET DVMRP INTERFACE	81
SHOW DVMRP	99

PIM

ADD PIM BSRCANDIDATE	36
ADD PIM INTERFACE	37
ADD PIM RPCANDIDATE	39
DELETE PIM BSRCANDIDATE	50
DELETE PIM INTERFACE	51
DELETE PIM RPCANDIDATE	52
DISABLE PIM	64
DISABLE PIM DEBUG	65
ENABLE PIM	75
ENABLE PIM DEBUG	76
PURGE PIM	78
RESET PIM INTERFACE	80
SET PIM	90
SET PIM BSRCANDIDATE	92
SET PIM INTERFACE	93
SET PIM LOG	95
SET PIM RPCANDIDATE	98
SHOW PIM	118

IGMP

ADD IGMP FILTER	32
ADD IP IGMP DESTINATION	34
CREATE IGMP FILTER	41
CREATE IP IGMP DESTINATION	42
DELETE IGMP FILTER	46

DELETE IP IGMP DESTINATION	48
DESTROY IGMP FILTER	53
DESTROY IP IGMP DESTINATION	54
DISABLE IP IGMP	59
DISABLE IP IGMP ALLGROUP	60
DISABLE IP IGMP INTERFACE	61
ENABLE IP IGMP	69
ENABLE IP IGMP ALLGROUP	70
ENABLE IP IGMP INTERFACE	71
SET IGMP FILTER	82
SET IP IGMP	86
SHOW IGMP FILTER	104
SHOW IP IGMP	110

IGMP Snooping

ADD IGMP Snooping ROUTERADDRESS	33
DELETE IGMP Snooping ROUTERADDRESS	47
DISABLE IGMP Snooping	58
ENABLE IGMP Snooping	68
SET IGMP Snooping ROUTERMODE	83
SET IGMP Snooping VLAN FASTLEAVE	85
SHOW IGMP Snooping	106
SHOW IGMP Snooping ROUTERADDRESS	109

MVR

ADD IP MVR	35
CREATE IP MVR	43
DELETE IP MVR	49
DESTROY IP MVR	55
DISABLE IP MVR	62
DISABLE IP MVR DEBUG	63
ENABLE IP MVR	72
ENABLE IP MVR DEBUG	73
SET IP MVR	88
SHOW IP MVR	114
SHOW IP MVR COUNTER	116

ADD DVMRP INTERFACE

カテゴリー：IP マルチキャスト / DVMRP

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

ADD DVMRP INTERFACE=vlan-if [METRIC=1..32]

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

指定した IP インターフェースで DVMRP (Distance Vector Multicast Routing Protocol) を有効にする。

パラメーター

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

METRIC メトリック値。インターフェースの通過コストを示す。このインターフェース経由で学習した経路エントリーのメトリックは、学習したメトリック値にこの値を加算したものになる。デフォルトは 1。

例

VLAN white 上で DVMRP パケットの送受信を有効にする。

```
ADD DVMRP INT=vlan-white
```

関連コマンド

DELETE DVMRP INTERFACE (45 ページ)

ENABLE DVMRP (66 ページ)

SET DVMRP INTERFACE (81 ページ)

SHOW DVMRP (99 ページ)

ADD IGMP FILTER

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

```
ADD IGMP FILTER=filter-id GROUPADDRESS=ipadd[-ipadd] [ENTRY=1..65535]  
[ACTION={INCLUDE|EXCLUDE}]
```

filter-id: フィルター番号 (1~99)

ipadd: IP アドレス

解説

IGMP フィルターにエントリー (ルール) を追加する。

パラメーター

FILTER フィルター番号 (1~99)

GROUPADDRESS マルチキャストグループアドレス (224.0.0.1 ~ 239.255.255.255)。ハイフンによる範囲指定も可能。エントリー間でグループアドレスの範囲が重なりあってもかまわない。

ENTRY エントリー番号 (1~65535)。まだ使われていない番号を指定すること。エントリー番号を省略した場合は、コマンド実行時点でもっとも大きな番号を持つエントリーの後ろに追加される。もっとも大きな番号を持つエントリーの後ろに空きがない場合は、空き番号中でもっとも大きな番号の位置に追加される。また、空きがない場合はエントリーを追加できない。

ACTION マッチしたグループ (Rerpot メッセージ) に対する処理。INCLUDE (許可・転送)、EXCLUDE (拒否・破棄) から選択する。省略時は INCLUDE。

備考・注意事項

IGMP フィルターは、エントリー番号の小さい順に検索され、最初にマッチしたエントリーでアクションが適用される。IGMP フィルターの末尾には、すべてのグループを拒否 (EXCLUDE) する暗黙のエントリーが存在することに注意。

関連コマンド

CREATE IGMP FILTER (41 ページ)

DELETE IGMP FILTER (46 ページ)

DESTROY IGMP FILTER (53 ページ)

SET IGMP FILTER (82 ページ)

SET SWITCH PORT (「スイッチング」の 270 ページ)

SHOW IGMP FILTER (104 ページ)

SHOW SWITCH PORT (「スイッチング」の 364 ページ)

ADD IGMP Snooping Router Address

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP Snooping

ADD IGMP Snooping Router Address=*ipadd*

ipadd: IP アドレス

解説

All Group 登録対象の制御用マルチキャストグループアドレスを追加する。

本コマンドは、SET IGMP Snooping Router Mode コマンドで IP を指定したあとでないと使用できない。

パラメーター

ROUTER ADDRESS 制御用マルチキャストグループアドレス。224.0.0.1～224.0.0.255 の範囲から選択する。IGMP Snooping 有効時、ここで指定したアドレス宛てのパケットを受信したスイッチポートは All Group 所属となり、同ポートにはすべてのマルチキャストパケットが出力される。

備考・注意事項

224.0.0.1 と 224.0.0.2 に関しては、IGMP パケットだけが All Group 登録の対象となる。

関連コマンド

DELETE IGMP Snooping Router Address (47 ページ)

SET IGMP Snooping Router Mode (83 ページ)

SHOW IGMP Snooping (106 ページ)

SHOW IGMP Snooping Router Address (109 ページ)

ADD IP IGMP DESTINATION

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

ADD IP IGMP DESTINATION=*ipadd* **INTERFACE=***vlan-if* **PORT={**ALL|*port-list***}**

ipadd: IP アドレス

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

port-list: スイッチポート番号 (1～。ハイフン、カンマを使った複数指定も可能)

解説

既存のスタティックな IGMP グループエントリにメンバーポートを追加する。

パラメーター

DESTINATION マルチキャストグループアドレス

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

PORT メンバーポート

関連コマンド

CREATE IP IGMP DESTINATION (42 ページ)

DELETE IP IGMP DESTINATION (48 ページ)

DESTROY IP IGMP DESTINATION (54 ページ)

SHOW IP IGMP (110 ページ)

ADD IP MVR

カテゴリー：IP マルチキャスト / MVR

ADD IP MVR VLAN=1..4094 GROUPADDRESS=*ipadd*[-*ipadd*]

ipadd: IP アドレス

解説

マルチキャスト VLAN に、配信対象のグループアドレスを追加する。

パラメーター

VLAN マルチキャスト VLAN の識別子。CREATE IP MVR コマンドの VLAN パラメーターで指定した値を指定する。

GROUPADDRESS 配信対象のマルチキャストグループアドレス。ハイフン区切りで範囲指定が可能。マルチキャスト VLAN が扱うことのできるグループはシステム全体で 256 個まで。

例

マルチキャスト VLAN 「1」の配信対象グループアドレスに、239.100.100.1～239.100.100.5 を追加する。

```
ADD IP MVR VLAN=1 GROUPADDRESS=239.100.100.1-239.100.100.5
```

備考・注意事項

配信対象グループとして、制御用マルチキャストアドレス 224.0.0.x を指定しないこと。

関連コマンド

CREATE IP MVR (43 ページ)

DELETE IP MVR (49 ページ)

SHOW IP MVR (114 ページ)

SHOW IP MVR COUNTER (116 ページ)

ADD PIM BSRCANDIDATE

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

ADD PIM BSRCANDIDATE [INTERFACE={*vlan-if*|*local-if*}] [PREFERENCE=0..255]

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

local-if: ローカル IP インターフェース (localX の形式。X はローカル IP インターフェース番号 (1~15))

解説

PIM-SM の C-BSR (ブートストラップルーター候補) として動作するように設定する。

BSR (Bootstrap Router) は、PIM-SM マルチキャストネットワーク上のマルチキャストグループ一覧と、各グループの C-RP (ランデブーポイント候補) の一覧を収集・保持・広告する役割を持つルーター。ネットワーク上に複数の C-BSR が存在する場合は、もっとも大きな優先度 (Preference) を持つルーターが BSR に選出される。

パラメーター

INTERFACE 自らを C-BSR (ブートストラップルーター候補) として広告するときの IP アドレスが設定されているインターフェース名。インターフェースを指定しなかった場合は、最初に設定した (ADD IP INTERFACE コマンドを実行した) IP インターフェースのアドレスが使われる。

PREFERENCE BSR 優先度。値が大きいほど BSR になる可能性が高い。デフォルトは 1。

例

PIM-SM ネットワークにおけるブートストラップルーターとして動作するように設定する。

```
ADD PIM BSRCANDIDATE
```

関連コマンド

DELETE PIM BSRCANDIDATE (50 ページ)

ENABLE PIM (75 ページ)

SET PIM (90 ページ)

SET PIM BSRCANDIDATE (92 ページ)

SHOW PIM (118 ページ)

ADD PIM INTERFACE

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

```
ADD PIM INTERFACE=vlan-if [MODE={SPARSE|DENSE}]
[DRPRIORITY=0..4294967295] [ELECTBY={DRPRIORITY|IPADDRESS}]
[HELLOINTERVAL={10..15000|DEFAULT|65535}]
```

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

指定した IP インターフェースで PIM-SM (Protocol Independent Multicast - Sparse Mode) または PIM-DM (Protocol Independent Multicast - Dense Mode) を有効にする。

パラメーター

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

MODE PIM の動作モード。グループメンバーが散在している WAN 環境向けの SPARSE モード (PIM-SM) と、メンバーが密集しており広い帯域が利用可能な LAN 環境向けの DENSE モード (PIM-DM) から選択する。デフォルトは SPARSE。

DRPRIORITY (PIM-SM のみ) DR 優先度。LAN 上に複数の PIM-SM ルーターが存在する場合に、該当 LAN の代表ルーター (DR = Designated Router) を決定するために用いられる。値が大きいほど優先度が高く、DR になる可能性が高くなる。デフォルトは 1。

ELECTBY (PIM-SM のみ) 代表ルーターの決定方式。DRPRIORITY (DR 優先度で決定) を指定した場合、このインターフェースから送出する Hello メッセージに DR 優先度 (PRIORITY パラメーターの値) を含める。IPADDRESS (IP アドレスで決定) を指定した場合は、Hello メッセージに DR 優先度を含めない。デフォルトは DRPRIORITY。

HELLOINTERVAL Hello メッセージの送信間隔 (秒) (Hello Timer)。65535 を指定した場合は、Hello メッセージの Holdtime フィールドにも 65535 (タイムアウトしない) がセットされる。デフォルトは 30 秒。

例

VLAN white で PIM-DM を有効にする。

```
ADD PIM INT=vlan-white MODE=DENSE
```

備考・注意事項

DR 優先度による代表ルーター決定は、同一 LAN 上のすべての PIM-SM ルーターが Hello メッセージに DR 優先度を含めているときだけ行われる。1 台でも DR 優先度を送信しないルーターが存在する場合は、ELECTBY=DRPRIORITY を指定していたとしても、IP アドレスによって代表ルーターが決定される。

関連コマンド

DELETE PIM INTERFACE (51 ページ)

ENABLE PIM (75 ページ)

RESET PIM INTERFACE (80 ページ)

SET PIM INTERFACE (93 ページ)

SHOW PIM (118 ページ)

ADD PIM RPCANDIDATE

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

```
ADD PIM RPCANDIDATE [=ipadd] GROUP=group-address [MASK=ipadd]
    [INTERFACE={vlan-if|local-if}] [PRIORITY=0..255]
```

ipadd: IP アドレスまたはネットマスク

group-address: マルチキャストグループアドレス（クラス D）

vlan-if: VLAN インターフェース（VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID）

local-if: ローカル IP インターフェース（localX の形式。X はローカル IP インターフェース番号（1～15））

解説

PIM-SM において、マルチキャストグループの C-RP（ランデブーポイント候補）として動作するよう設定する。または、マルチキャストグループの RP（ランデブーポイント）を静的に設定する。

パラメーター

RPCANDIDATE RP（Rendezvous Point）の IP アドレス。IP アドレスを省略した場合は、PIM-SM のブートストラップメカニズムにより RP が動的に決定される。本パラメーターに IP アドレスを指定した場合は、指定したアドレスを持つルーターが該当グループの RP となる（静的設定）。静的設定の場合、すべての PIM-SM ルーターに同じ RP アドレスを設定すること。また、その場合 BSR の設定は不要（ブートストラップメカニズムよりも静的な RP 設定が優先される）。

GROUP マルチキャストグループアドレス

MASK GROUP パラメーターで指定したアドレスに対するマスク。複数グループの C-RP として設定するときに使用すると便利。デフォルトは 255.255.255.255（単一グループ）。

INTERFACE 自らを C-RP（ランデブーポイント候補）として広告するときの IP アドレスが設定されているインターフェース名。インターフェースを指定しなかった場合は、最初に設定した（ADD IP INTERFACE コマンドを実行した）IP インターフェースのアドレスが使われる。

PRIORITY RP（Rendezvous Point）決定時の優先度。値が小さいほど優先度が高く、RP になる可能性が高くなる。デフォルトは 192。RP を静的に設定した場合（RPCANDIDATE に IP アドレスを指定した場合）、本パラメーターは指定できない。

例

マルチキャストグループアドレス 239.255.0.0～239.255.0.255 のランデブーポイント候補（C-RP）として動作するよう設定する。

```
ADD PIM RPCANDIDATE GROUP=239.255.0.0 MASK=255.255.255.0
```

マルチキャストグループアドレス 239.1.2.0 ~ 239.1.2.255 のランデブーポイント(RP)として、192.168.100.1 を静的に設定する。ネットワーク上の全 PIM ルーターに同じ設定をすること。この場合、BSR の設定は不要 (ADD PIM BSRCANDIDATE コマンドは不要)。

```
ADD PIM RPCANDIDATE=192.168.100.1 GROUP=239.1.2.0 MASK=255.255.255.0
```

備考・注意事項

複数グループの RP として動作している場合、MASK、PRIORITY パラメーターはすべて同じ値となる。

関連コマンド

DELETE PIM RPCANDIDATE (52 ページ)

ENABLE PIM (75 ページ)

SET PIM RPCANDIDATE (98 ページ)

SHOW PIM (118 ページ)

CREATE IGMP FILTER

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

CREATE IGMP FILTER=*filter-id*

filter-id: フィルター番号 (1~99)

解説

IGMP フィルターを作成する。IGMP フィルターは、スイッチポートで受信した IGMP Report メッセージをフィルタリングすることで、該当ポートに接続されたホストが特定のマルチキャストグループにだけ Join できるようにする機能。

パラメーター

FILTER フィルター番号 (1~99)

備考・注意事項

IGMP フィルターは、スタティックな IGMP グループエントリーに対しては機能しない。

関連コマンド

ADD IGMP FILTER (32 ページ)

DELETE IGMP FILTER (46 ページ)

DESTROY IGMP FILTER (53 ページ)

SET IGMP FILTER (82 ページ)

SET SWITCH PORT (「スイッチング」の 270 ページ)

SHOW IGMP FILTER (104 ページ)

SHOW SWITCH PORT (「スイッチング」の 364 ページ)

CREATE IP IGMP DESTINATION

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

```
CREATE IP IGMP DESTINATION=ipadd INTERFACE=vlan-if [PORT [= {ALL|  
port-list}]]
```

ipadd: IP アドレス

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

port-list: スイッチポート番号 (1～。ハイフン、カンマを使った複数指定も可能)

解説

スタティックな IGMP グループエントリを作成する。

各エントリは、マルチキャストグループアドレスと VLAN インターフェースの組で識別される。

スタティックエントリはタイムアウトしないので、削除するには DESTROY IP IGMP DESTINATION コマンドを使う。

パラメーター

DESTINATION マルチキャストグループアドレス

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

PORT メンバーポート。本パラメーターを省略したときは、INTERFACE で指定した VLAN の全ポートがメンバーとなる。また、ポートを指定せずにパラメーター名だけを指定した場合は、メンバーポートなしの状態でグループエントリが作成される。あとでメンバーポートを追加するには、ADD IP IGMP DESTINATION コマンドを使う。

関連コマンド

ADD IP IGMP DESTINATION (34 ページ)

DESTROY IP IGMP DESTINATION (54 ページ)

SHOW IP IGMP (110 ページ)

CREATE IP MVR

カテゴリー：IP マルチキャスト / MVR

```
CREATE IP MVR VLAN=1..4094 SOURCEPORT=port-list RECEIVERPORT=port-list  
[IMTLEAVE=port-list] [MODE={DYNAMIC|COMPATIBLE}]
```

port-list: スイッチポート番号 (1～。ハイフン、カンマを使った複数指定も可能)

解説

マルチキャスト VLAN (ソースポートとレシーバーポートの組み合わせ) を定義する。

本コマンドでマルチキャスト VLAN を作成したら、ADD IP MVR コマンドで配信したいグループアドレスを指定すること。

パラメーター

VLAN マルチキャスト VLAN の識別子。ソースポートが所属する VLAN の VLAN ID を指定すること。

SOURCEPORT ソースポート (マルチキャストトラフィックの送信者または上流ルーターが接続されているポート)。カンマ、ハイフン区切りで複数指定が可能。ソースポートは、VLAN パラメーターで指定する VLAN に所属していなくてはならない。

RECEIVERPORT レシーバーポート (マルチキャストトラフィックの受信者が接続されているポート)。カンマ、ハイフン区切りで複数指定が可能。レシーバーポートは複数の VLAN に散在していてもよいが、ソースポートと同じ VLAN に所属してはならない。

IMTLEAVE RECEIVERPORT パラメーターに指定したポートのうち、IMTLEAVE (Immediate Leave) 機能を有効にするポートの一覧。カンマ、ハイフン区切りで複数指定が可能。IMTLEAVE 有効のレシーバーポートでは、IGMP Leave メッセージの受信直後に同ポートがメンバーリストから削除される。したがって、IMTLEAVE 有効のポートに、複数の機器を接続してはならない。一方、IMTLEAVE 無効のポートで IGMP Leave メッセージを受信した場合は、IGMP Query メッセージによる最終確認の後で同ポートがメンバーリストから削除される。本パラメーターを省略時は、すべてのレシーバーポートで IMTLEAVE 機能が無効に設定される。

MODE マルチキャスト VLAN の動作モード。DYNAMIC モードと COMPATIBLE モードから選択する。DYNAMIC モードのときは、レシーバーポートで受信した配信対象グループ宛での IGMP Report メッセージをソースポートから出力する。COMPATIBLE モードのときは、レシーバーポートで受信した IGMP Report メッセージをソースポートには出力しない。省略時は DYNAMIC。

例

マルチキャスト VLAN 「1」を作成する。ソースポートは 1、レシーバーポートは 2～24 とする。

```
CREATE IP MVR VLAN=1 SOURCEPORT=1 RECEIVERPORT=2-24
```

備考・注意事項

マルチキャスト VLAN はシステム全体で 5 個まで作成可能。

SOURCEPORT、RECEIVERPORT にタグ付きポートを指定してはならない。

SOURCEPORT、RECEIVERPORT を複数のマルチキャスト VLAN に所属させることはできない。

関連コマンド

ADD IP MVR (35 ページ)

DELETE IP MVR (49 ページ)

DESTROY IP MVR (55 ページ)

SET IP MVR (88 ページ)

SHOW IP MVR (114 ページ)

SHOW IP MVR COUNTER (116 ページ)

DELETE DVMRP INTERFACE

カテゴリー：IP マルチキャスト / DVMRP

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

DELETE DVMRP INTERFACE=*vlan-if*

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

指定したインターフェースで DVMRP (Distance Vector Multicast Routing Protocol) を無効にする。
指定したインターフェース経由で学習した経路情報はすべて削除される。

パラメーター

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

関連コマンド

ADD DVMRP INTERFACE (31 ページ)

DISABLE DVMRP (56 ページ)

RESET DVMRP INTERFACE (79 ページ)

SHOW DVMRP (99 ページ)

DELETE IGMP FILTER

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

DELETE IGMP FILTER=*filter-id* **ENTRY={***1..65535***|ALL**}

filter-id: フィルター番号 (1~99)

解説

IGMP フィルターからエントリー（ルール）を削除する。

パラメーター

FILTER フィルター番号 (1~99)

ENTRY エントリー番号 (1~65535) ALL を指定した場合は、該当フィルターのすべてのエントリーが削除される。

関連コマンド

ADD IGMP FILTER (32 ページ)

CREATE IGMP FILTER (41 ページ)

DESTROY IGMP FILTER (53 ページ)

SET IGMP FILTER (82 ページ)

SET SWITCH PORT (「スイッチング」の 270 ページ)

SHOW IGMP FILTER (104 ページ)

SHOW SWITCH PORT (「スイッチング」の 364 ページ)

DELETE IGMP Snooping RouterAddress

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP Snooping

DELETE IGMP Snooping RouterAddress=ipadd

ipadd: IP アドレス

解説

All Group 登録対象の制御用マルチキャストグループアドレスを削除する。

本コマンドは、SET IGMP Snooping RouterMode コマンドで IP を指定したあとでないと使用できない。

パラメーター

RouterAddress 制御用マルチキャストグループアドレス。224.0.0.1 ~ 224.0.0.255 の範囲から選択する。

関連コマンド

ADD IGMP Snooping RouterAddress (33 ページ)

SET IGMP Snooping RouterMode (83 ページ)

SHOW IGMP Snooping (106 ページ)

SHOW IGMP Snooping RouterAddress (109 ページ)

DELETE IP IGMP DESTINATION

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

DELETE IP IGMP DESTINATION=*ipadd* **INTERFACE=***vlan-if* **PORT={***ALL***|***port-list***}**

ipadd: IP アドレス

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

port-list: スイッチポート番号 (1～。ハイフン、カンマを使った複数指定も可能)

解説

スタティックな IGMP グループエントリからメンバーポートを削除する。

本コマンドでメンバーポートをすべて削除しても、グループエントリは「メンバーポートなし」の状態が残る。エントリを削除するには、DESTROY IP IGMP DESTINATION コマンドを使う。

パラメーター

DESTINATION マルチキャストグループアドレス

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

PORT メンバーポート

関連コマンド

ADD IP IGMP DESTINATION (34 ページ)

CREATE IP IGMP DESTINATION (42 ページ)

DESTROY IP IGMP DESTINATION (54 ページ)

SHOW IP IGMP (110 ページ)

DELETE IP MVR

カテゴリー：IP マルチキャスト / MVR

DELETE IP MVR VLAN=1..4094 GROUPADDRESS=*ipadd*[-*ipadd*]

ipadd: IP アドレス

解説

マルチキャスト VLAN から、配信対象のグループアドレスを削除する。

パラメーター

VLAN マルチキャスト VLAN の識別子。CREATE IP MVR コマンドの VLAN パラメーターで指定した値を指定する。

GROUPADDRESS 配信対象から除外するマルチキャストグループアドレス。ハイフン区切りで範囲指定が可能。

例

マルチキャスト VLAN 「1」の配信対象グループアドレスから 239.100.100.5 を除外する。

```
DELETE IP MVR VLAN=1 GROUPADDRESS=239.100.100.5
```

関連コマンド

ADD IP MVR (35 ページ)

CREATE IP MVR (43 ページ)

SHOW IP MVR (114 ページ)

SHOW IP MVR COUNTER (116 ページ)

DELETE PIM BSRCANDIDATE

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

DELETE PIM BSRCANDIDATE

解説

PIM-SM における C-BSR（ブートストラップルーター候補）としての動作を停止する。

関連コマンド

ADD PIM BSRCANDIDATE (36 ページ)

DISABLE PIM (64 ページ)

SHOW PIM (118 ページ)

DELETE PIM INTERFACE

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

DELETE PIM INTERFACE=vlan-if

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

指定した IP インターフェースで PIM-SM (Protocol Independent Multicast - Sparse Mode) または PIM-DM (Protocol Independent Multicast - Dense Mode) を無効にする。

パラメーター

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

関連コマンド

ADD PIM INTERFACE (37 ページ)

DISABLE PIM (64 ページ)

SHOW PIM (118 ページ)

DELETE PIM RPCANDIDATE

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

DELETE PIM RPCANDIDATE [= *ipadd*] **GROUP=group-address** [MASK=*ipadd*]

group-address: マルチキャストグループアドレス (クラス D)

ipadd: IP アドレスまたはネットマスク

解説

マルチキャストグループの C-RP (ランデブーポイント候補) としての動作を停止する。または、RP (ランデブーポイント) の静的設定を削除する。

パラメーター

RPCANDIDATE RP を静的に設定している場合、RP の IP アドレスを指定する。

GROUP マルチキャストグループアドレス

MASK GROUP パラメーターで指定したアドレスに対するマスク。デフォルトは 255.255.255.255。

関連コマンド

ADD PIM RPCANDIDATE (39 ページ)

DELETE PIM INTERFACE (51 ページ)

DISABLE PIM (64 ページ)

SET PIM RPCANDIDATE (98 ページ)

SHOW PIM (118 ページ)

DESTROY IGMP FILTER

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

DESTROY IGMP FILTER=filter-id

filter-id: フィルター番号 (1~99)

解説

IGMP フィルターを削除する。IGMP フィルターを削除する場合は、あらかじめスイッチポートから該当フィルターを適用解除しておく必要がある。

パラメーター

FILTER フィルター番号 (1~99)

関連コマンド

ADD IGMP FILTER (32 ページ)

CREATE IGMP FILTER (41 ページ)

DELETE IGMP FILTER (46 ページ)

SET IGMP FILTER (82 ページ)

SET SWITCH PORT (「スイッチング」の 270 ページ)

SHOW IGMP FILTER (104 ページ)

SHOW SWITCH PORT (「スイッチング」の 364 ページ)

DESTROY IP IGMP DESTINATION

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

DESTROY IP IGMP DESTINATION=*ipadd* INTERFACE=*vlan-if*

ipadd: IP アドレス

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

スタティックな IGMP グループエントリを削除する。

パラメーター

DESTINATION マルチキャストグループアドレス

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

関連コマンド

CREATE IP IGMP DESTINATION (42 ページ)

DESTROY IP MVR

カテゴリー：IP マルチキャスト / MVR

DESTROY IP MVR VLAN=1..4094

解説

マルチキャスト VLAN を削除する。

パラメーター

VLAN マルチキャスト VLAN の識別子。CREATE IP MVR コマンドの VLAN パラメーターで指定した値を指定する。

例

マルチキャスト VLAN 「1」 を削除する。

DESTROY IP MVR VLAN=1

関連コマンド

CREATE IP MVR (43 ページ)

SET IP MVR (88 ページ)

SHOW IP MVR (114 ページ)

SHOW IP MVR COUNTER (116 ページ)

DISABLE DVMRP

カテゴリー：IP マルチキャスト / DVMRP

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

DISABLE DVMRP

解説

DVMRP (Distance Vector Multicast Routing Protocol) モジュールを無効にする。デフォルトは無効。

関連コマンド

DELETE DVMRP INTERFACE (45 ページ)

ENABLE DVMRP (66 ページ)

RESET DVMRP INTERFACE (79 ページ)

SHOW DVMRP (99 ページ)

DISABLE DVMRP DEBUG

カテゴリー：IP マルチキャスト / DVMRP

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

DISABLE DVMRP DEBUG={ALL|GRAFT|PROBE|PRUNE|REPORT} INTERFACE=*vlan-if*

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

DVMRP のデバッグオプションを無効にする。デフォルトはすべて無効。

パラメーター

DEBUG 無効にするデバッグオプション。ALL(すべて)、GRAFT(Graft/Graft Ack パケット)、PROBE (Probe パケット)、PRUNE (Prune パケット)、REPORT (Report パケット) から選択する。

INTERFACE デバッグ対象の IP (VLAN) インターフェース

関連コマンド

ENABLE DVMRP DEBUG (67 ページ)

SHOW DVMRP (99 ページ)

DISABLE IGMP Snooping

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP Snooping

DISABLE IGMP Snooping

解説

IGMP Snooping を無効にする。デフォルトは有効。

関連コマンド

ENABLE IGMP Snooping (68 ページ)

SHOW IGMP Snooping (106 ページ)

DISABLE IP IGMP

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

DISABLE IP IGMP

解説

IGMP (Internet Group Management Protocol) を無効にする。デフォルトは無効。

関連コマンド

DISABLE IP IGMP INTERFACE (61 ページ)

ENABLE IP IGMP (69 ページ)

SHOW IP IGMP (110 ページ)

DISABLE IP IGMP ALLGROUP

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

DISABLE IP IGMP ALLGROUP={*port-list*|ALL}

port-list: スイッチポート番号 (1～。ハイフン、カンマを使った複数指定も可能)

解説

指定したスイッチポートが IGMP/IGMP Snooping の All Group 所属になることを禁止する。デフォルトは全ポート許可。

デフォルトでは、ルーティングプロトコルパケット (RIP、OSPF など) を受信したスイッチポートは All Group 所属となり、同ポートにはすべてのマルチキャストパケットが出力される。

この動作が望ましくない場合は、本コマンドで All Group への所属を禁止すればよい。これにより、ルーティングプロトコルパケットを受信したポートが All Group 所属にならなくなる。

パラメーター

ALLGROUP All Group への所属を禁止するポートの一覧。ALL を指定した場合はすべてのポートが対象となる。

関連コマンド

ENABLE IP IGMP ALLGROUP (70 ページ)

SHOW IP IGMP (110 ページ)

DISABLE IP IGMP INTERFACE

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

DISABLE IP IGMP INTERFACE=*vlan-if*

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

指定した VLAN インターフェースで IGMP を無効にする。

パラメーター

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

関連コマンド

DISABLE IP IGMP (59 ページ)

ENABLE IP IGMP INTERFACE (71 ページ)

SHOW IP IGMP (110 ページ)

DISABLE IP MVR

カテゴリー：IP マルチキャスト / MVR

DISABLE IP MVR

解説

MVR (Multicast VLAN Registration) モジュールを無効にする。デフォルトは無効。

関連コマンド

ENABLE IP MVR (72 ページ)

SHOW IP MVR (114 ページ)

DISABLE IP MVR DEBUG

カテゴリー：IP マルチキャスト / MVR

DISABLE IP MVR DEBUG={ALL|JOIN|LEAVE|MARL}

解説

MVR (Multicast VLAN Registration) モジュールのデバッグオプションを無効にする。デフォルトはすべて無効。

パラメーター

DEBUG デバッグオプション。JOIN (IGMP Report メッセージ)、LEAVE (IGMP Leave メッセージ)、MARL (内部テーブル)、ALL (すべて) から選択する。

関連コマンド

ENABLE IP MVR DEBUG (73 ページ)

DISABLE PIM

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

DISABLE PIM

解説

PIM (Protocol Independent Multicast) モジュールを無効にする。デフォルトは無効。

関連コマンド

DELETE PIM BSRCANDIDATE (50 ページ)

DELETE PIM INTERFACE (51 ページ)

DELETE PIM RPCANDIDATE (52 ページ)

ENABLE PIM (75 ページ)

DISABLE PIM DEBUG

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

DISABLE PIM DEBUG=**{ALL|ASSERT|BSR|C-RP-ADV|GRAFT|HELLO|JOIN|REGISTER}**[, ...]

解説

PIM (Protocol Independent Multicast) モジュールのデバッグオプションを無効にする。デフォルトはすべて無効。

パラメーター

DEBUG 無効にするデバッグオプション。カンマ区切りで複数指定が可能。ALL (すべて)、ASSERT (Assert メッセージ)、BSR (Bootstrap メッセージ)、C-RP-ADV (C-RP-Advertisement メッセージ)、GRAFT (Graft/Graft Ack メッセージ)、HELLO (Hello メッセージ)、JOIN (Join/Prune メッセージ)、REGISTER (Register/Register Stop メッセージ) から選択する。

関連コマンド

ENABLE PIM DEBUG (76 ページ)

ENABLE DVMRP

カテゴリー：IP マルチキャスト / DVMRP

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

ENABLE DVMRP

解説

DVMRP (Distance Vector Multicast Routing Protocol) モジュールを有効にする。デフォルトは無効。

関連コマンド

ADD DVMRP INTERFACE (31 ページ)

DISABLE DVMRP (56 ページ)

SET DVMRP INTERFACE (81 ページ)

SHOW DVMRP (99 ページ)

ENABLE DVMRP DEBUG

カテゴリー：IP マルチキャスト / DVMRP

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

ENABLE DVMRP DEBUG=**{ALL|GRAFT|PROBE|PRUNE|REPORT}** **INTERFACE**=*vlan-if*

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

DVMRP のデバッグオプションを有効にする。

デバッグ情報はコマンドを入力した端末画面に出力される。デフォルトはすべて無効。

パラメーター

DEBUG 有効にするデバッグオプション。ALL (すべて)、GRAFT (Graft/Graft Ack パケット)、PROBE (Probe パケット)、PRUNE (Prune パケット)、REPORT (Report パケット) から選択する。

INTERFACE デバッグ対象の IP (VLAN) インターフェース

備考・注意事項

本コマンドは、トラブルシューティング時など、内部情報の確認が必要な場合を想定したものですので、ご使用に際しては弊社技術担当にご相談ください。

関連コマンド

DISABLE DVMRP DEBUG (57 ページ)

SHOW DVMRP (99 ページ)

ENABLE IGMP Snooping

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP Snooping

ENABLE IGMP Snooping

解説

IGMP Snooping を有効にする。デフォルトは有効。
本機能はレイヤー 2 レベルの機能なので、IP や IGMP を有効にする必要はない。

備考・注意事項

IGMP Snooping は内部的にハードウェア IP フィルターを利用して実現されている。そのため、IGMP Snooping を有効にすると、ハードウェア IP フィルターも自動的に有効化される。

関連コマンド

DISABLE IGMP Snooping (58 ページ)

SHOW IGMP Snooping (106 ページ)

ENABLE IP IGMP

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

ENABLE IP IGMP

解説

IGMP (Internet Group Management Protocol) を有効にする。

IGMP を使用するためには、本コマンドに加え、使用するインターフェースでも IGMP を有効にする必要がある (ENABLE IP IGMP INTERFACE コマンド)。デフォルトは無効。

関連コマンド

DISABLE IP IGMP (59 ページ)

ENABLE IP IGMP INTERFACE (71 ページ)

SHOW IP IGMP (110 ページ)

ENABLE IP IGMP ALLGROUP

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

ENABLE IP IGMP ALLGROUP=*{port-list|ALL}*

port-list: スイッチポート番号（1～。ハイフン、カンマを使った複数指定も可能）

解説

指定したスイッチポートが IGMP/IGMP Snooping の All Group 所属になることを許可する。デフォルトは全ポート許可。

デフォルトでは、ルーティングプロトコルパケット（RIP、OSPF など）を受信したスイッチポートは All Group 所属となり、同ポートにはすべてのマルチキャストパケットが出力される。

この動作が望ましくない場合は、DISABLE IP IGMP ALLGROUP コマンドで All Group への所属を禁止すればよい。これにより、ルーティングプロトコルパケットを受信したポートが All Group 所属にならなくなる。

パラメーター

ALLGROUP All Group への所属を許可するポートの一覧。ALL を指定した場合はすべてのポートが対象となる。

関連コマンド

DISABLE IP IGMP ALLGROUP（60 ページ）

SHOW IP IGMP（110 ページ）

ENABLE IP IGMP INTERFACE

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

ENABLE IP IGMP INTERFACE=*vlan-if*

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

指定した VLAN インターフェースで IGMP を有効にする。デフォルトは無効。

パラメーター

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

関連コマンド

DISABLE IP IGMP INTERFACE (61 ページ)

ENABLE IP IGMP (69 ページ)

SHOW IP IGMP (110 ページ)

ENABLE IP MVR

カテゴリー：IP マルチキャスト / MVR

ENABLE IP MVR

解説

MVR (Multicast VLAN Registration) モジュールを有効にする。デフォルトは無効。
MVR モジュールを有効化するには、あらかじめ IGMP と IGMP Snooping を有効にしておく必要がある。

備考・注意事項

MVR と通常のマルチキャスト経路制御プロトコル (DVMRP、PIM) は併用できない。

関連コマンド

DISABLE IP MVR (62 ページ)

SHOW IP MVR (114 ページ)

ENABLE IP MVR DEBUG

カテゴリー：IP マルチキャスト / MVR

ENABLE IP MVR DEBUG={ALL|JOIN|LEAVE|MARL}

解説

MVR (Multicast VLAN Registration) モジュールのデバッグオプションを有効にする。デフォルトはすべて無効。

パラメーター

DEBUG デバッグオプション。JOIN (IGMP Report メッセージ)、LEAVE (IGMP Leave メッセージ)、MARL (内部テーブル)、ALL (すべて) から選択する。

入力・出力・画面例

```
Manager > ena ip mvr debug=all

Info (1005003): Operation successful.

Manager > Timing out port 21 from group 239.100.100.5
Deleting port 21 from group 239.100.100.5

Port 20 left Multicast Vlan 1 at group address 239.100.100.5

Port 20, left the Vlan 1 marl table portmap and utportmap
Manager > Adding port 7 for group 239.100.100.1

Manager > Adding port 21 for group 239.100.100.5

Port 20 joined Multicast Vlan 1 at group address 239.100.100.5

Port 20, joined the Vlan 1 marl table portmap and utportmap
Manager > Adding port 7 for group 239.100.100.5
```

備考・注意事項

本コマンドは、トラブルシューティング時など、内部情報の確認が必要な場合を想定したものですので、ご使用に際しては弊社技術担当にご相談ください。

関連コマンド

ENABLE IP MVR DEBUG

DISABLE IP MVR DEBUG (63 ページ)

ENABLE PIM

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

ENABLE PIM

解説

PIM (Protocol Independent Multicast) モジュールを有効にする。デフォルトは無効。

関連コマンド

ADD PIM BSRCANDIDATE (36 ページ)

ADD PIM INTERFACE (37 ページ)

ADD PIM RPCANDIDATE (39 ページ)

DISABLE PIM (64 ページ)

SET PIM (90 ページ)

SET PIM INTERFACE (93 ページ)

SHOW PIM (118 ページ)

ENABLE PIM DEBUG

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

ENABLE PIM DEBUG=**{ALL|ASSERT|BSR|C-RP-ADV|GRAFT|HELLO|JOIN|REGISTER}**[, ...]

解説

PIM (Protocol Independent Multicast) モジュールのデバッグオプションを有効にする。デフォルトはすべて無効。

パラメーター

DEBUG 有効にするデバッグオプション。カンマ区切りで複数指定が可能。ALL (すべて)、ASSERT (Assert メッセージ)、BSR (Bootstrap メッセージ)、C-RP-ADV (C-RP-Advertisement メッセージ)、GRAFT (Graft/Graft Ack メッセージ)、HELLO (Hello メッセージ)、JOIN (Join/Prune メッセージ)、REGISTER (Register/Register Stop メッセージ) から選択する。

備考・注意事項

本コマンドは、トラブルシューティング時など、内部情報の確認が必要な場合を想定したものですので、ご使用に際しては弊社技術担当にご相談ください。

関連コマンド

DISABLE PIM DEBUG (65 ページ)

PURGE DVMRP

カテゴリー：IP マルチキャスト / DVMRP

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

PURGE DVMRP

解説

DVMRP の設定情報、動作情報をすべて削除し、DVMRP モジュールを無効にする。

備考・注意事項

ランタイムメモリー上にある DVMRP 関連の設定がすべて削除されるため、運用中のシステムで本コマンドを実行するときは十分に注意すること。

関連コマンド

DELETE DVMRP INTERFACE (45 ページ)

DISABLE DVMRP (56 ページ)

RESET DVMRP INTERFACE (79 ページ)

SET DVMRP INTERFACE (81 ページ)

SHOW DVMRP (99 ページ)

PURGE PIM

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

PURGE PIM

解説

PIM の設定情報、動作情報をすべて削除し、PIM モジュールを無効にする。

備考・注意事項

ランタイムメモリー上にある PIM 関連の設定がすべて削除されるため、運用中のシステムで本コマンドを実行するときは十分に注意すること。

関連コマンド

DELETE PIM BSRCANDIDATE (50 ページ)

DELETE PIM INTERFACE (51 ページ)

DELETE PIM RPCANDIDATE (52 ページ)

DISABLE PIM (64 ページ)

DISABLE PIM DEBUG (65 ページ)

RESET PIM INTERFACE (80 ページ)

SHOW PIM (118 ページ)

RESET DVMRP INTERFACE

カテゴリー：IP マルチキャスト / DVMRP

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

RESET DVMRP INTERFACE=*vlan-if*

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

指定した DVMRP インターフェースをリセットする。

該当インターフェースにおける DVMRP プロセスが初期化され、タイマー、経路情報はクリアされる。

パラメーター

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

関連コマンド

DELETE DVMRP INTERFACE (45 ページ)

DISABLE DVMRP (56 ページ)

SET DVMRP INTERFACE (81 ページ)

SHOW DVMRP (99 ページ)

RESET PIM INTERFACE

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

RESET PIM INTERFACE=*vlan-if*

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

指定した PIM インターフェースをリセットする。該当インターフェースにおける PIM プロセスが初期化され、タイマー、経路情報はクリアされる。

パラメーター

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

関連コマンド

SET PIM (90 ページ)

SET PIM INTERFACE (93 ページ)

SHOW PIM (118 ページ)

SET DVMRP INTERFACE

カテゴリー：IP マルチキャスト / DVMRP

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

SET DVMRP INTERFACE=*vlan-if* [METRIC=1..32]

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

DVMRP インターフェースのパラメーターを変更する。

パラメーター

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

METRIC メトリック値。インターフェースの通過コストを示す。このインターフェース経由で学習した経路エントリーのメトリックは、学習したメトリック値にこの値を加算したものになる。デフォルトは 1。

関連コマンド

RESET DVMRP INTERFACE (79 ページ)

SHOW DVMRP (99 ページ)

SET IGMP FILTER

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

SET IGMP FILTER=filter-id ENTRY=1..65535 [GROUPADDRESS=ipadd[-ipadd]]
[ACTION={INCLUDE|EXCLUDE}]

filter-id: フィルター番号 (1~99)。

ipadd: IP アドレス

解説

IGMP フィルターのエントリー (ルール) を変更する。

パラメーター

FILTER フィルター番号 (1~99)。

ENTRY エントリー番号 (1~65535)

GROUPADDRESS マルチキャストグループアドレス (224.0.0.1 ~ 239.255.255.255) ハイフンによる範囲指定も可能。エントリー間でグループアドレスの範囲が重なりあってもかまわない。

ACTION マッチしたグループ (Rerpot メッセージ) に対する処理。INCLUDE (許可・転送) EXCLUDE (拒否・破棄) から選択する。

関連コマンド

ADD IGMP FILTER (32 ページ)

CREATE IGMP FILTER (41 ページ)

DELETE IGMP FILTER (46 ページ)

DESTROY IGMP FILTER (53 ページ)

SET SWITCH PORT (「スイッチング」の 270 ページ)

SHOW IGMP FILTER (104 ページ)

SHOW SWITCH PORT (「スイッチング」の 364 ページ)

SET IGMP Snooping Router Mode

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP Snooping

SET IGMP Snooping Router Mode={ALL|DEFAULT|IP|MULTICASTROUTER|NONE}

解説

IGMP Snooping 有効時に制御用マルチキャストグループアドレス宛てのパケットを受信したときの動作を指定する。

デフォルトでは、下記アドレス宛てのパケットを受信したスイッチポートは All Group 所属となり、同ポートにはすべてのマルチキャストパケットが出力される。

- ・ 224.0.0.1 (同一サブネット上の全ノード。IGMP パケットだけが対象)
- ・ 224.0.0.2 (同一サブネット上の全ルーター。IGMP パケットだけが対象)
- ・ 224.0.0.4 (DVMRP ルーター)
- ・ 224.0.0.5 (OSPF ルーター)
- ・ 224.0.0.6 (OSPF 代表ルーター)
- ・ 224.0.0.9 (RIP Version 2 ルーター)
- ・ 224.0.0.13 (PIM ルーター)
- ・ 224.0.0.15 (CBT ルーター)

本コマンドを実行することにより、どのアドレス宛てのパケットを受信したときにポートを All Group に所属させるかを指定できる。現在どのアドレスが All Group 登録対象になっているかは、SHOW IGMP Snooping Router Address コマンドで確認できる。

パラメーター

ROUTERMODE どのマルチキャストグループ宛てのパケットを受信したときに、ポートを All Group 所属にするかを指定する。キーワード ALL、DEFAULT、IP、MULTICASTROUTER、NONE から選択する。それぞれの意味は別表を参照のこと。

ALL	224.0.0.1 ~ 224.0.0.255 を受信したときにポートを All Group に所属させる
DEFAULT	224.0.0.1、224.0.0.2、224.0.0.4、224.0.0.5、224.0.0.6、224.0.0.9、224.0.0.13、224.0.0.15 を受信したときにポートを All Group に所属させる
IP	任意のアドレス (224.0.0.1 ~ 224.0.0.255 の範囲内) を受信したときにポートを All Group に所属させる。本コマンドで ROUTERMODE=IP を指定すると、以後はアドレス任意指定モードになる。実際のアドレスは ADD IGMP Snooping Router Address コマンドで追加する。ROUTERMODE=IP を指定しただけでは、All Group 登録対象アドレスの設定は変化しないので注意

MULTICASTROUTER	224.0.0.4、224.0.0.13を受信したときにポートを All Group に所属させる
NONE	ポートを All Group に所属させない

表 6: ROUTERMODE パラメーターに指定できる値

備考・注意事項

224.0.0.1 と 224.0.0.2 に関しては、IGMP パケットだけが All Group 登録の対象となる。

関連コマンド

ADD IGMP Snooping Router Address (33 ページ)

DELETE IGMP Snooping Router Address (47 ページ)

SHOW IGMP Snooping (106 ページ)

SHOW IGMP Snooping Router Address (109 ページ)

SET IGMP Snooping VLAN FastLeave

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP Snooping

SET IGMP Snooping VLAN={*vlanname*|1..4094|ALL} **FASTLEAVE**={ON|OFF|YES|NO|TRUE|FALSE}

vlanname: VLAN 名 (1～32 文字。英数字とアンダースコア (_)、ハイフンを使用可能。大文字小文字を区別しない)

解説

指定した VLAN において、IGMP Snooping 高速脱退 (Fast Leave) 機能の有効・無効を変更する。デフォルトはすべての VLAN で無効。

本機能を有効にしている VLAN では、Leave Group メッセージの受信後ただちに受信ポートをメンバーリストから削除する。本機能は、ポート配下に 1 台しかホストが接続されていないことを前提にした機能であるため、ポート配下に複数のホストが接続されている VLAN では有効化しないこと。

パラメーター

VLAN 設定対象の VLAN。特定の VLAN でのみ本機能の有効・無効を変更したいときには VLAN 名か VLAN ID (VID) を指定する。すべての VLAN を対象にしたいときはキーワード ALL を指定すること。

FASTLEAVE 高速脱退機能の有効・無効。ON・YES・TRUE と OFF・NO・FALSE はそれぞれ同じ意味。デフォルトは OFF。

関連コマンド

SHOW IGMP Snooping (106 ページ)

SET IP IGMP

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

```
SET IP IGMP [QUERYINTERVAL=1..65535] [TIMEOUT=1..65535]
[QUERYRESPONSEINTERVAL=1..255] [LMQI=1..255] [LMQC=1..5]
[ROBUSTNESS=1..5]
```

解説

IGMP (Internet Group Management Protocol) の動作パラメーターを変更する。

パラメーター

QUERYINTERVAL 代表ルーター時の General Membership Query 送信間隔 (秒) (Query Interval)。デフォルトは 125 秒。

TIMEOUT 該当グループの Membership Report を受信できなくなってから、グループをローカルグループデータベースから削除するまでの時間 (秒) (Group Membership Interval)。デフォルトは 260 秒。

QUERYRESPONSEINTERVAL 代表ルーター時に General Membership Query の Max Response Time フィールドにセットする値 (Query Response Interval)。単位は 1/10 秒。デフォルトは 100 (10 秒)。QUERYINTERVAL × 10 よりも小さい値にすること。

LMQI Leave Group メッセージを受け取ったときに送信する Group-Specific Membership Query の Max Response Time フィールドにセットする値 (Last Member Query Interval)。また、同 Query の送信間隔でもある。単位は 1/10 秒。デフォルトは 10 (1 秒)。

LMQC Leave Group メッセージを受け取ったときに送信する Group-Specific Membership Query の送信回数 (Last Member Query Count)。つねに ROBUSTNESS と同じ値をとる。デフォルトは 2。

ROBUSTNESS パケットロスへの対抗力を示すパラメーター (Robustness Variable)。パケットの損失率が高いネットワークでは、この値を大きくすることによりプロトコルの動作を安定させることができる。本パラメーターの値を変更すると、LMQC (Last Membership Query Count) をはじめ、他のタイマー値も連動して変更される。デフォルトは 2。

備考・注意事項

通常これらのパラメーターを変更する必要はない。

関連コマンド

DISABLE IP IGMP (59 ページ)

DISABLE IP IGMP INTERFACE (61 ページ)

ENABLE IP IGMP (69 ページ)

ENABLE IP IGMP INTERFACE (71 ページ)

SHOW IP IGMP (110 ページ)

SET IP MVR

カテゴリー：IP マルチキャスト / MVR

```
SET IP MVR VLAN=1..4094 [SOURCEPORT=port-list] [RECEIVERPORT=port-list]
[IMTLEAVE=port-list] [MODE={DYNAMIC|COMPATIBLE}]
```

port-list: スイッチポート番号（1～）。ハイフン、カンマを使った複数指定も可能）

解説

マルチキャスト VLAN の設定を変更する。

パラメーター

VLAN マルチキャスト VLAN の識別子。CREATE IP MVR コマンドの VLAN パラメーターで指定した値を指定する。

SOURCEPORT ソースポート（マルチキャストトラフィックの送信者または上流ルーターが接続されているポート）。カンマ、ハイフン区切りで複数指定が可能。ソースポートは、VLAN パラメーターで指定する VLAN に所属していなくてはならない。

RECEIVERPORT レシーバーポート（マルチキャストトラフィックの受信者が接続されているポート）。カンマ、ハイフン区切りで複数指定が可能。レシーバーポートは複数の VLAN に散在していてもよいが、ソースポートと同じ VLAN に所属してはならない。

IMTLEAVE RECEIVERPORT パラメーターに指定したポートのうち、IMTLEAVE（Immediate Leave）機能を有効にするポートの一覧。カンマ、ハイフン区切りで複数指定が可能。IMTLEAVE 有効のレシーバーポートでは、IGMP Leave メッセージの受信直後に同ポートがメンバーリストから削除される。したがって、IMTLEAVE 有効のポートに、複数の機器を接続してはならない。一方、IMTLEAVE 無効のポートで IGMP Leave メッセージを受信した場合は、IGMP Query メッセージによる最終確認の後で同ポートがメンバーリストから削除される。本パラメーターを省略時は、すべてのレシーバーポートで IMTLEAVE 機能が無効に設定される。

MODE マルチキャスト VLAN の動作モード。DYNAMIC モードと COMPATIBLE モードから選択する。DYNAMIC モードのときは、レシーバーポートで受信した配信対象グループ宛ての IGMP Report メッセージをソースポートから出力する。COMPATIBLE モードのときは、レシーバーポートで受信した IGMP Report メッセージをソースポートには出力しない。省略時は DYNAMIC。

備考・注意事項

SOURCEPORT、RECEIVERPORT にタグ付きポートを指定してはならない。

SOURCEPORT、RECEIVERPORT を複数のマルチキャスト VLAN に所属させることはできない。

関連コマンド

ADD IP MVR (35 ページ)
CREATE IP MVR (43 ページ)
DELETE IP MVR (49 ページ)
DESTROY IP MVR (55 ページ)
SHOW IP MVR (114 ページ)
SHOW IP MVR COUNTER (116 ページ)

SET PIM

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

```
SET PIM [ADVINTERVAL={10..15000|DEFAULT}] [BSMINTERVAL={10..15000|
DEFAULT}] [JPINTERVAL={1..65535|DEFAULT}] [KEEPALIVETIME={10..65535|
DEFAULT}] [PROBETIME={1..65535|DEFAULT}] [PRUNEHOLDTIME={10..65535|
DEFAULT}] [SOURCEALIVETIME={10..65535|DEFAULT}] [SRINTERVAL={10..255|
DEFAULT}] [SUPPRESSIONTIME={1..65535|DEFAULT}]
```

解説

PIM (Protocol Independent Multicast) の各種タイマーを変更する。これらのタイマーはデフォルトで多くの環境に適した設定になっているため、通常このコマンドを使う必要はない。

パラメーター

ADVINTERVAL (PIM-SM のみ) Candidate-RP-Advertisement メッセージの送信間隔。デフォルトは 60 秒

BSMINTERVAL (PIM-SM のみ) ブートストラップメッセージ (BSM) の送信間隔。デフォルトは 60 秒

JPINTERVAL Join/Prune メッセージの送信間隔 (秒) (Upstream Join Timer)。デフォルトは 60 秒。通常は 18000 秒未満に設定する。

KEEPALIVETIME (PIM-SM のみ) データトラフィックがなくなってから、(S,G) の Join 状態を削除するまでの時間 (秒)。デフォルトは 210 秒。

PROBETIME (PIM-SM のみ) RP (ランデブーポイント) からの Register Stop メッセージを受信できなくなってから、マルチキャストパケットのカプセル化を再開するまでの時間 (秒) (Register Probe Time)。デフォルトは 5 秒。

PRUNEHOLDTIME (PIM-DM のみ) 上流ルーターに指示する Prune 状態の保持時間 (秒)。また、無駄な Prune メッセージの送信を避けるためにも使われる (Prune Limit Timer)。デフォルトは 210 秒。

SOURCEALIVETIME (PIM-DM のみ) データトラフィックがなくなってから、State Refresh Originator がアクティブでなくなるまでの時間 (秒)。デフォルトは 210 秒。

SRINTERVAL (PIM-DM のみ) State Refresh メッセージの送信間隔 (秒)。デフォルトは 60 秒。

SUPPRESSIONTIME (PIM-SM のみ) 送信者側 DR (代表ルーター) が RP に Null Register メッセージを送信する間隔 (秒) (Register Suppression Time)。Null Register メッセージは、マルチキャストパケットのカプセル化が必要ないかどうかを RP に確認するためのもの。カプセル化が必要ない場合、RP は Register Stop メッセージを DR に返送する。デフォルトは 60 秒。

関連コマンド

SET PIM INTERFACE (93 ページ)

SHOW PIM (118 ページ)

SET PIM BSRCANDIDATE

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

SET PIM BSRCANDIDATE [INTERFACE={*vlan-if*|*local-if*}] [PREFERENCE=0..255]

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

local-if: ローカル IP インターフェース (localX の形式。X はローカル IP インターフェース番号 (1~15))

解説

PIM-SM の C-BSR (ブートストラップルーター候補) としての設定を変更する。

パラメーター

INTERFACE 自らを C-BSR (ブートストラップルーター候補) として広告するときの IP アドレスが設定されているインターフェース名。インターフェースを指定しなかった場合は、最初に設定した (ADD IP INTERFACE コマンドを実行した) IP インターフェースのアドレスが使われる。

PREFERENCE BSR 優先度。大きいほど BSR になる可能性が高い。デフォルトは 1。

関連コマンド

ADD PIM BSRCANDIDATE (36 ページ)

DELETE PIM BSRCANDIDATE (50 ページ)

ENABLE PIM (75 ページ)

SET PIM (90 ページ)

SHOW PIM (118 ページ)

SET PIM INTERFACE

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

```
SET PIM INTERFACE=vlan-if [MODE={SPARSE|DENSE}]
[DRPRIORITY=0..4294967295] [ELECTBY={DRPRIORITY|IPADDRESS}]
[HELLOINTERVAL={10..15000|DEFAULT|65535}]
```

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

PIM インターフェースのパラメーターを変更する。

パラメーター

INTERFACE IP (VLAN) インターフェース名

MODE PIM の動作モード。グループメンバーが散在している WAN 環境向けの SPARSE モード (PIM-SM) と、メンバーが密集しており広い帯域が利用可能な LAN 環境向けの DENSE モード (PIM-DM) から選択する。デフォルトは SPARSE。

DRPRIORITY (PIM-SM のみ) DR 優先度。LAN 上に複数の PIM-SM ルーターが存在する場合に、該当 LAN の代表ルーター (DR = Designated Router) を決定するために用いられる。値が大きいほど優先度が高く、DR になる可能性が高くなる。デフォルトは 1。

ELECTBY (PIM-SM のみ) 代表ルーターの決定方式。DRPRIORITY (DR 優先度で決定) を指定した場合、このインターフェースから送出する Hello メッセージに DR 優先度 (PRIORITY パラメーターの値) を含める。IPADDRESS (IP アドレスで決定) を指定した場合は、Hello メッセージに DR 優先度を含めない。デフォルトは DRPRIORITY。

HELLOINTERVAL Hello メッセージの送信間隔 (秒) (Hello Timer)。65535 を指定した場合は、Hello メッセージの Holdtime フィールドにも 65535 (タイムアウトしない) がセットされる。デフォルトは 30 秒。

備考・注意事項

DR 優先度による代表ルーター決定は、同一 LAN 上のすべての PIM-SM ルーターが Hello メッセージに DR 優先度を含めているときだけ行われる。1 台でも DR 優先度を送信しないルーターが存在する場合は、ELECTBY=DRPRIORITY を指定していたとしても、IP アドレスによって代表ルーターが決定される。

関連コマンド

ADD PIM INTERFACE (37 ページ)

DELETE PIM INTERFACE (51 ページ)

ENABLE PIM (75 ページ)

RESET PIM INTERFACE (80 ページ)

SHOW PIM (118 ページ)

SET PIM LOG

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

SET PIM LOG=**{NONE|STATUS|ERROR|ALL}** [TRAP=**{NONE|STATUS|ERROR|ALL}**]

解説

PIM-SM のロギングオプションと SNMP トラップオプションを変更する。

パラメーター

LOG ログに記録するイベントの種類。STATUS (状態変化をログに記録)、ERROR (エラー発生をログに記録)、ALL (状態変化とエラー発生をログに記録)、NONE (記録しない) から選択する。デフォルトは NONE。

TRAP SNMP トラップで通知するイベントの種類。STATUS (状態変化をトラップで通知)、ERROR (エラー発生をトラップで通知)、ALL (状態変化とエラー発生をトラップで通知)、NONE (トラップを送信しない) から選択する。デフォルトは NONE。

状態変化イベント	
PIM interface X has been EN- ABLED	PIM インターフェース X の状態が無効から有効に変更された
PIM interface X has been DIS- ABLED	PIM インターフェース X の状態が有効から無効に変更された
PIM neighbour x.x.x.x; Added on PIM interface X	PIM インターフェース X 上に PIM ルーター x.x.x.x を検出し、 Neighbour テーブルに追加した
PIM neighbour x.x.x.x; Deleted on PIM interface X	PIM インターフェース X 上の PIM ルーター x.x.x.x がタイムア ウトしたため、Neighbour テーブルから削除した
PIM neighbour x.x.x.x; Changed genID, y->z on PIM interface X	PIM インターフェース X 上の PIM ルーター x.x.x.x の Gener- ation ID が y から z に変更された
PIM neighbour x.x.x.x; Changed port, y->z on PIM interface X	PIM インターフェース X 上の PIM ルーター x.x.x.x のポートが y から z に変更された
PIM RP changed from x.x.x.x to y.y.y.y for group z.z.z.z	マルチキャストグループ z.z.z.z のランデブーポイント (RP) が x.x.x.x から y.y.y.y に変更された
PIM DR changed from x.x.x.x to y.y.y.y on PIM interface X	PIM インターフェース X 上の代表ルーター (DR) が x.x.x.x か ら y.y.y.y に変更された
PIM BSR changed from x.x.x.x to y.y.y.y	ブートストラップルーター (BSR) が x.x.x.x から y.y.y.y に変更 された
エラー発生イベント	
PIM received invalid <type> packet; <descr>	不正な PIM パケットを受信した。<type>はパケットの種類。 <descr>には簡単な説明が入る

PIM <type> packet; Invalid destination address x.x.x.x on PIM interface X	PIM インターフェース X 上において、不正な終点アドレス x.x.x.x を持つ PIM パケットを受信した。<type>はパケットの種類。
PIM fragment; <descr> on PIM interface X	PIM インターフェース X において、不正にフラグメント化された PIM パケットを受信した。<descr>には簡単な説明が入る
PIM received <type> packet; Data length is too short on PIM interface X	PIM インターフェース X 上において、データ長の足りない不正な PIM パケットを受信した。<type>はパケットの種類
PIM received <type> packet; Bad group address encoding on PIM interface X	PIM インターフェース X 上において、グループアドレスのエンコーディングが不正な PIM パケットを受信した。<type>はパケットの種類
PIM received <type> packet; Bad source address encoding on PIM interface X	PIM インターフェース X 上において、始点アドレスのエンコーディングが不正な PIM パケットを受信した。<type>はパケットの種類
PIM received <type> packet; Missing <opttype> option on PIM interface X	PIM インターフェース X 上において、オプションの不足している不正な PIM パケットを受信した。<type>はパケットの種類。<opttype>はオプションの種類
PIM internal error; <descr>	PIM モジュールで内部エラーが発生した。<descr>には簡単な説明が入る
PIM received <type> packet; <descr> on PIM interface X	なんらかの理由により、PIM インターフェース X で受信したパケットの処理を継続できなかった（転送できなかったなど）。<type>はパケットの種類。<descr>には簡単な説明が入る

表 7: ログに記録されるイベントの一覧

PimInterfaceUpTrap	PIM インターフェースが有効になった
PimInterfaceDownTrap	PIM インターフェースが無効になった
PimNeighbourAddTrap	Neighbour テーブルに PIM ルーターを追加した
PimNeighbourDeleteTrap	Neighbour テーブルから PIM ルーターを削除した
PimErrorTrap	PIM エラーパケットを受信した

表 8: SNMP トラップの一覧

関連コマンド

SHOW PIM (118 ページ)

SET PIM RPCANDIDATE

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

```
SET PIM RPCANDIDATE GROUP=group-address [MASK=ipadd] [INTERFACE={vlan-if|
local-if}] [PRIORITY=0..255]
```

group-address: マルチキャストグループアドレス（クラス D）

ipadd: IP アドレスまたはネットマスク

vlan-if: VLAN インターフェース（VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID）

local-if: ローカル IP インターフェース（localX の形式。X はローカル IP インターフェース番号（1～15）

解説

PIM-SM の C-RP（ランデブーポイント候補）としての設定を変更する。

パラメーター

GROUP マルチキャストグループアドレス

MASK GROUP パラメーターで指定したアドレスに対するマスク。複数グループの C-RP として設定するときに使用すると便利。デフォルトは 255.255.255.255（単一グループ）。

INTERFACE 自らを C-RP（ランデブーポイント候補）として広告するときの IP アドレスが設定されているインターフェース名。インターフェースを指定しなかった場合は、最初に設定した（ADD IP INTERFACE コマンドを実行した）IP インターフェースのアドレスが使われる。

PRIORITY RP（Rendezvous Point）決定時の優先度。値が小さいほど優先度が高く、RP になる可能性が高くなる。デフォルトは 192。

関連コマンド

ADD PIM RPCANDIDATE（39 ページ）

DELETE PIM RPCANDIDATE（52 ページ）

ENABLE PIM（75 ページ）

SHOW PIM（118 ページ）

SHOW DVMRP

カテゴリー：IP マルチキャスト / DVMRP

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

SHOW DVMRP [CONFIG|COUNTERS|DEBUG|FORWARDING|INTERFACE|NEIGHBOUR|ROUTE]

解説

DVMRP (Distance Vector Multicast Routing Protocol) に関する情報を表示する。

パラメーター

CONFIG DVMRP の設定をスクリプト形式で表示する。

COUNTERS DVMRP インターフェースにおけるパケット送受信統計を表示する。

DEBUG 現在有効になっているデバッグオプションを表示する。

FORWARDING DVMRP の転送表 (転送キャッシュ) を表示する。

INTERFACE DVMRP インターフェースの情報を表示する。

NEIGHBOUR 同一サブネットにある DVMRP ルーター (隣接ルーター) の情報を表示する。

ROUTE DVMRP の経路表を表示する。

入力・出力・画面例

```
Manager > show dvmrp config
```

```
#
#DVMRP configuration
#
```

```
enable dvmrp
add dvmrp interface=vlan1
add dvmrp interface=vlan100
```

```
Manager > show dvmrp counters
```

```
DVMRP Interface Counters
```

```
Interface: vlan1
```

	Rcv Pkts	Rcv Bad Pkts	Send Pkts
Probe	0000000000	0000000000	0000000510
Report	0000000000	0000000000	0000000000
Prune	0000000000	0000000000	0000000000
Graft	0000000000	0000000000	0000000000
GraftAck	0000000000	0000000000	0000000000
Total	0000000000	0000000000	0000000510

```
-----
Interface: vlan100
```

	Rcv Pkts	Rcv Bad Pkts	Send Pkts
Probe	0000000507	0000000000	0000000511
Report	0000000086	0000000000	0000000087
Prune	0000000000	0000000000	0000000004
Graft	0000000000	0000000000	0000000003
GraftAck	0000000003	0000000000	0000000000
Total	0000000596	0000000000	0000000605

```
-----
```

```
Manager > show dvmrp debug
```

```
DVMRP Debug
```

```
Interface    Debug Options
```

```
-----
vlan10       Probe
vlan100      None
-----
```

```
Manager > show dvmrp forwarding
```

```
DVMRP Forwarding Table
```

Source Address	Source Mask	Group	In Port	Pruned Up	Expiry
Forwarding Ports					
192.168.20.200	255.255.255.255	239.255.100.1	vlan10	No	6120
vlan100(00)					
.....					
192.168.10.103	255.255.255.255	239.255.2.1	vlan100	Yes(1338)	0140
.....					

```
-----
```

```
Manager > show dvmrp interface
```

```
DVMRP Interface Table
```

```
Interface    Metric
```

```
-----
vlan1        001
vlan100      001
-----
```

```
Probe Interval .....10
Neighbour Timeout .....35
Route Report Interval .....60
Route Expiration Interval .....140
```

```
Manager > show dvmrp neighbour
```

```
DVMRP Neighbour Table
```

Interface	IP Address	Two Way		

vlan100	192.168.100.2	Yes		

Manager > show dvmrp route				
DVMRP Routing Table				
Source Address	Source Mask	Metric	Next Hop	Hold Down
Designated Router				
Dependent Neighbours				

192.168.1.0	255.255.255.0	001	vlan1->0.0.0.0	No
vlan100->me				
vlan100->192.168.100.2				
.....				
192.168.100.0	255.255.255.0	001	vlan100->0.0.0.0	No
vlan1->me				
.....				
192.168.10.0	255.255.255.0	002	vlan100->192.168.100.2	No
vlan1->me				
.....				

Interface	DVMRP インターフェース
Rcv Pkts	受信パケット数
Rcv Bad Pkts	受信パケットのうち、エラーなどの理由で破棄されたものの数
Send Pkts	送信パケット数

表 9: COUNTERS オプション

Interface	DVMRP インターフェース
Debug Options	有効になっているデバッグオプション

表 10: DEBUG オプション

Source Address	マルチキャストパケットの始点 IP アドレス
Source Mask	始点アドレス (Source Address) に適用するマスク
Group	終点マルチキャストグループアドレス
In Port	上流 (受信) インターフェース
Pruned Up	上流に Prune パケットを送信した状態かどうか。Yes の場合はカッコ内に Prune の残り有効期限 (Lifetime) (秒) も表示される

Expiry	エントリーの残り有効期限（秒）
Forwarding Ports	下流（送信）インターフェース

表 11: FORWARDING オプション

Interface	DVMRP インターフェース
Metric	DVMRP インターフェースのメトリック設定値
Probe Interval	Probe パケットの送信間隔（秒）
Neighbour Timeout	隣接ルーターが存在しなくなったと判断するまでの時間（秒）
Route Report Interval	Report パケットの送信間隔（秒）
Route Expiration Interval	DVMRP 経路の有効期限（秒）

表 12: INTERFACE オプション

Interface	DVMRP インターフェース
IP address	隣接ルーターの IP アドレス
Two Way	隣接ルーターが当方を認識しているかどうか（双方向で隣接関係が築かれているかどうか）

表 13: NEIGHBOUR オプション

Source Address	マルチキャストパケットの始点 IP アドレス
Source Mask	始点アドレス（Source Address）に適用するマスク
Metric	経路エントリーのメトリック値
Next Hop	始点アドレス（Source Address）に向かう経路上のネクストホップアドレス
Hold Down	経路エントリーがホールドダウン（エントリーは無効だが、まだ削除されていない状態）中かどうか
Designated Router	該当インターフェース上の代表ルーター。「me」は該当インターフェース自体が代表ルーターであることを示す
Dependent Neighbours	本ルーターに依存している DVMRP 隣接ルーターの IP アドレスとインターフェース

表 14: ROUTE オプション

関連コマンド

ADD DVMRP INTERFACE (31 ページ)

DELETE DVMRP INTERFACE (45 ページ)

DISABLE DVMRP (56 ページ)

DISABLE DVMRP DEBUG (57 ページ)

ENABLE DVMRP (66 ページ)

ENABLE DVMRP DEBUG (67 ページ)

RESET DVMRP INTERFACE (79 ページ)

SET DVMRP INTERFACE (81 ページ)

SHOW IGMP FILTER

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

SHOW IGMP FILTER [=filter-id]

filter-id: フィルター番号 (1~99)

解説

IGMP フィルターの情報を表示する。

パラメーター

FILTER フィルター番号 (1~99)。本パラメーターに値を指定したときは、指定したフィルターだけが表示される。値を省略したときは、すべてのフィルターが表示される。

入力・出力・画面例

Manager > show igmp filter							
IGMP Filters							
No.	Entry	Group Address Range		Msg Type	Action	Matches	
1	1	239.2.1.10 - 239.2.1.10		Report	Include	0	
	Reports	- Recd:	0	Passed:	0	Dropped:	0
	Queries	- Recd:	0	Passed:	0	Dropped:	0
	Leaves	- Recd:	0	Passed:	0	Dropped:	0

No.	フィルター番号
Entry	フィルター内のエントリー番号
Group Address Range	マルチキャストグループアドレスの範囲。単一アドレスの場合は同じアドレスが2つ表示される
Msg Type	メッセージ種別
Action	マッチしたグループ (Report メッセージ) に対する処理
Reports	このフィルターが適用されているスイッチポートで受信した Report メッセージの数。Recd (受信総数) Passed (フィルターにより転送許可された数) Dropped (フィルターにより破棄された数) このエントリーにマッチした Report メッセージの数

Queries	このフィルターが適用されているスイッチポートで受信した Query メッセージの数。Recd (受信総数) Passed (フィルターにより転送許可された数) Dropped (フィルターにより破棄された数) このエントリーにマッチした Report メッセージの数
Leaves	このフィルターが適用されているスイッチポートで受信した Leave メッセージの数。Recd (受信総数) Passed (フィルターにより転送許可された数) Dropped (フィルターにより破棄された数) このエントリーにマッチした Report メッセージの数

表 15:

関連コマンド

ADD IGMP FILTER (32 ページ)
 CREATE IGMP FILTER (41 ページ)
 DELETE IGMP FILTER (46 ページ)
 DESTROY IGMP FILTER (53 ページ)
 SET IGMP FILTER (82 ページ)
 SET SWITCH PORT (「スイッチング」の 270 ページ)
 SHOW SWITCH PORT (「スイッチング」の 364 ページ)

SHOW IGMP Snooping

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP Snooping

SHOW IGMP Snooping [COUNTERS] [VLAN={*vlanname*|1..4094}]

vlanname: VLAN 名 (1~32 文字。英数字とアンダースコア (_) ハイフンを使用可能。大文字小文字は区別しない)

解説

IGMP Snooping の情報を表示する。

パラメーター

COUNTERS IGMP Snooping の統計カウンターを表示する。

VLAN 指定した VLAN における情報だけを表示する。省略時はすべての VLAN が対象となる。

入力・出力・画面例

```

Manager > show igmpsnooping
IGMP Snooping
-----
Status ..... Enabled
Disabled All-groups ports ..... None

Vlan Name (vlan id) ..... default (1)
Fast Leave ..... Off
Query Solicitation ..... Off
Static Router Ports ..... None
Group List .....

  Group. 239.1.2.3                      Entry timeout 105 secs
  Ports  None

  Group. 239.1.2.100                    Entry timeout 247 secs
  Ports  1

  Group. 239.9.9.1                      Entry timeout Infinity
  Ports  3,5

Vlan Name (vlan id) ..... remote (100)
Fast Leave ..... Off
Query Solicitation ..... Off
Static Router Ports ..... None
Group List .....

```

```

Group. 239.1.2.100                                Entry timeout 256 secs
Ports  None

All Groups                                         Entry timeout 260 secs
Ports  5

-----

Manager > show igmpsnooping counter
IGMP Snooping Counters
-----

Vlan Name=default (Vlan Id=1):

inQuery ..... 0                                badQuery ..... 0
inV1Report ..... 0                            badV1Report ..... 0
inV2Report ..... 6                            badV2Report ..... 0
inLeave ..... 0                                badLeave ..... 0
inRouterMsg ..... 0                          badRouterMsg ..... 0
inTotal ..... 6                              badTotal ..... 0

Vlan Name=remote (Vlan Id=100):

inQuery ..... 3                                badQuery ..... 0
inV1Report ..... 3                            badV1Report ..... 0
inV2Report ..... 1                            badV2Report ..... 0
inLeave ..... 0                                badLeave ..... 0
inRouterMsg ..... 57                          badRouterMsg ..... 0
inTotal ..... 64                              badTotal ..... 0

-----

```

Status	IGMP Snooping の状態。Enabled か Disabled
Disabled All-groups ports	All Group への所属が禁止されているポートの一覧
Vlan Name (vlan id)	VLAN 名 (VLAN ID)
Fast Leave	該当 VLAN における高速脱退機能の有効・無効
Query Solicitation	未サポート
Static Router Ports	未サポート
Group List	マルチキャストグループの一覧 (グループエントリー一覧)
Group.	マルチキャストグループアドレス
Ports	メンバーが存在するポート。存在しないときは None と表示される
Entry timeout	該当グループのエントリーを削除するまでの時間 (秒)

表 16:

inQuery	Membership Query メッセージ受信数
inV1Report	IGMPv1 Membership Report メッセージ受信数
inV2Report	IGMPv2 Membership Report メッセージ受信数
inLeave	IGMPv2 Leave Group メッセージ受信数
inRouterMsg	224.0.0.x 宛てのマルチキャストパケット受信数
inTotal	IGMP メッセージ受信総数
badQuery	受信した Membership Query メッセージのうち、エラーがあったものの数
badV1Report	受信した IGMPv1 Membership Report メッセージのうち、エラーがあったものの数
badV2Report	受信した IGMPv2 Membership Report メッセージのうち、エラーがあったものの数
badLeave	受信した IGMPv2 Leave Group メッセージのうち、エラーがあったものの数
badRouterMsg	受信した 224.0.0.x 宛てのマルチキャストパケットのうち、エラーがあったものの数
badTotal	受信した IGMP メッセージのうち、エラーがあったものの総数

表 17: COUNTERS オプション指定時

関連コマンド

DISABLE IGMP Snooping (58 ページ)

ENABLE IGMP Snooping (68 ページ)

SET IGMP Snooping VLAN FastLeave (85 ページ)

SHOW IGMP Snooping Router Address

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP Snooping

SHOW IGMP Snooping Router Address

解説

制御用マルチキャストグループアドレスの取り扱いに関する情報を表示する。

入力・出力・画面例

```
Manager > show igmpsnooping routeraddress

IGMP Snooping Router Address
-----
IGMP Snooping Router Mode ..... default

Router Address List
-----
224.0.0.1      224.0.0.4      224.0.0.6      224.0.0.13
224.0.0.2      224.0.0.5      224.0.0.9      224.0.0.15
-----
```

IGMP Snooping Router Mode	制御用マルチキャストグループアドレス宛てパケットを受信したときの動作モード。all、default、ip、multicastrouter、none がある。詳細は SET IGMP Snooping Router Mode コマンドの解説を参照
Router Address List	All Group 登録対象の制御用マルチキャストグループアドレス一覧。IGMP Snooping 有効時、ここに表示されているアドレス宛てのパケットを受信したスイッチポートは All Group 所属となり、同ポートにはすべてのマルチキャストパケットが出力される

表 18:

関連コマンド

- ADD IGMP Snooping Router Address (33 ページ)
- DELETE IGMP Snooping Router Address (47 ページ)
- SET IGMP Snooping Router Mode (83 ページ)
- SHOW IGMP Snooping (106 ページ)

SHOW IP IGMP

カテゴリー：IP マルチキャスト / IGMP

SHOW IP IGMP [COUNTER] [INTERFACE=*vlan-if*]

vlan-if: VLAN インターフェース (VLAN-name か VLANvid の形式。name は VLAN 名、vid は VLAN ID)

解説

IGMP、および、IP インターフェースごとのマルチキャストグループ情報を表示する。

パラメーター

COUNTER IGMP の統計カウンターを表示する。

INTERFACE 指定した IP インターフェースの情報だけを表示する。省略時はすべての IP インターフェースが対象となる

入力・出力・画面例

```

Manager > show ip igmp
IGMP Protocol
-----
Status ..... Enabled
Default Query Interval ..... 125 secs
Default Timeout Interval ..... 260 secs

Last Member Query Interval ..... 10 (1/10secs)
Last Member Query Count ..... 2
Robustness Variable ..... 2
Query Response Interval ..... 100 (1/10secs)
Disabled All-groups ports ..... None

Interface Name ..... vlan33 (DR)
IGMP Status ..... Disabled
Other Querier timeout ..... 0 secs
IGMP Proxy ..... Off
General Query Reception Timeout .... None
Group List .....

    No group memberships.

Interface Name ..... vlan1 (DR)
IGMP Status ..... Disabled
IGMP Proxy ..... Off
General Query Reception Timeout .... None

```

```

Group List .....

No group memberships.

-----

Manager > show ip igmp counter
IGMP Counters
-----

Interface Name: vlan10

inQuery ..... 0          outQuery ..... 0
inV1Report ..... 0
inV2Report ..... 5
inLeave ..... 0
inTotal ..... 5          outTotal ..... 0

badQuery ..... 0
badV1Report ..... 0
badV2Report ..... 0
badLeave ..... 0
badTotal ..... 0

Interface Name: vlan100

inQuery ..... 0          outQuery ..... 0
inV1Report ..... 0
inV2Report ..... 22
inLeave ..... 3
inTotal ..... 25          outTotal ..... 0

badQuery ..... 0
badV1Report ..... 0
badV2Report ..... 0
badLeave ..... 0
badTotal ..... 0

-----

```

Status	IGMP の状態。Enabled か Disabled
Default Query Interval	General Membership Query のデフォルト送信間隔 (秒)
Default Timeout Interval	Membership Report を受信できなくなってから、該当グループをグループデータベースから削除するまでの時間 (秒)
Last Member Query Interval	Leave Group メッセージを受け取ったときに送信する Group-Specific Membership Query の Max Response Time フィールドにセットする値。また、同 Query の送信間隔 (1/10 秒)

Last Member Query Count	Leave Group メッセージを受け取ったときに送信する Group-Specific Membership Query の送信回数
Robustness Variable	パケットロスへの対抗力を示すパラメーター。他の IGMP タイマーがこの値に連動するよう設計されている
Query Response Interval	General Membership Query の Max Response Time フィールドにセットする値 (1/10 秒)
Disabled All-groups ports	All Group への所属が禁止されているポートの一覧
Interface Name	IP (VLAN) インターフェース名。代表ルーターとして動作しているときは、インターフェース名のあとに「(DR)」と表示される
IGMP Status	該当インターフェースにおける IGMP の状態
Other Querier timeout	未サポート
IGMP Proxy	未サポート
General Query Reception Timeout	未サポート
Group List	マルチキャストグループの一覧 (グループエントリ一覧)
Group.	マルチキャストグループアドレス
Last Adv.	一番最近 Membership Report を広告したホスト。グループがスタティック登録されている場合は「Static association」と表示される
Refresh time	Membership Report を受信しなくなってからグループを削除するまでの時間 (秒)。グループがスタティック登録されている場合は「Infinity」(無期限)と表示される
Ports	メンバーポートの一覧
Static Ports	スタティックなメンバーポートの一覧。グループがスタティック登録されているときだけ表示される

表 19:

inQuery	Membership Query メッセージ受信数
inV1Report	IGMPv1 Membership Report メッセージ受信数
inV2Report	IGMPv2 Membership Report メッセージ受信数
inLeave	IGMPv2 Leave Group メッセージ受信数
inTotal	IGMP メッセージ受信総数
outQuery	Membership Query メッセージ送信数
outTotal	IGMP メッセージ送信総数
badQuery	受信した Membership Query メッセージのうち、エラーがあったものの数
badV1Report	受信した IGMPv1 Membership Report メッセージのうち、エラーがあったものの数
badV2Report	受信した IGMPv2 Membership Report メッセージのうち、エラーがあったものの数

badLeave	受信した IGMPv2 Leave Group メッセージのうち、エラーがあったものの数
badTotal	受信した IGMP メッセージのうち、エラーがあったものの総数

表 20: COUNTER オプション指定時

関連コマンド

ADD IP IGMP DESTINATION (34 ページ)

CREATE IP IGMP DESTINATION (42 ページ)

DISABLE IP IGMP (59 ページ)

DISABLE IP IGMP INTERFACE (61 ページ)

ENABLE IP IGMP (69 ページ)

ENABLE IP IGMP INTERFACE (71 ページ)

SET IP IGMP (86 ページ)

SHOW IP MVR

カテゴリー：IP マルチキャスト / MVR

SHOW IP MVR [VLAN=1..4094]

解説

MVR (Multicast VLAN Registration) モジュールに関する情報を表示する。

パラメーター

VLAN MVR エントリーに関連付けられている VLAN の VLAN ID (VID)。省略時はすべて MVR エントリーに関する情報が表示される。

入力・出力・画面例

Manager > show ip mvr

Multicast VLAN

VLAN	Mode	Intleave	Source Ports	Receiver Ports		Group Address
				Current Members		
1	Dynamic	1		2-24		239.100.100.1
				7		
						239.100.100.2
						239.100.100.3
						239.100.100.4
						239.100.100.5

VLAN	マルチキャスト VLAN の識別子。ソースポートが所属する VLAN の VLAN ID (VID)
Mode	マルチキャスト VLAN の動作モード。Dynamic(配信対象グループ宛での IGMP Report をソースポートから出力) か Compatible

(IGMP Report をソースポートに出力しない)	
Imtleave	IMTLEAVE (Immediate Leave) オプションが有効なレシーバーポートの一覧
Source Ports	ソースポートの一覧
Receiver Ports	レシーバーポートの一覧
Current Members	グループに参加中のレシーバーポート
Group Address	配信対象グループアドレス

表 21:

関連コマンド

ADD IP MVR (35 ページ)

CREATE IP MVR (43 ページ)

SET IP MVR (88 ページ)

SHOW IP MVR COUNTER (116 ページ)

SHOW IP MVR COUNTER

カテゴリー：IP マルチキャスト / MVR

SHOW IP MVR COUNTER [VLAN=1..4094]

解説

MVR (Multicast VLAN Registration) モジュールに関する情報を表示する。

パラメーター

VLAN MVR エントリーに関連付けられている VLAN の VLAN ID (VID)。省略時はすべて MVR エントリーに関する情報が表示される。

入力・出力・画面例

Manager > show ip mvr counter			
Multicast VLAN Counters			

VLAN	Group Address	Joins	Leaves

1			
	239.100.100.1	1	0
	239.100.100.2	0	0
	239.100.100.3	0	0
	239.100.100.4	0	0
	239.100.100.5	4	2

VLAN	マルチキャスト VLAN の識別子。ソースポートが所属する VLAN の VLAN ID (VID)
Group Address	配信対象グループアドレス
Joins	レシーバーポートがグループに参加した回数
Leaves	レシーバーポートがグループから脱退した回数

表 22:

関連コマンド

ADD IP MVR (35 ページ)

CREATE IP MVR (43 ページ)

SET IP MVR (88 ページ)

SHOW PIM

カテゴリー：IP マルチキャスト / PIM

備考：フィーチャーライセンス AT-FL-03 が必要

SHOW PIM [BSRCANDIDATE|CONFIG|COUNTERS|DEBUG|INTERFACE|NEIGHBOUR|ROUTE|
RPCANDIDATE|RPSET|TIMER]

解説

PIM (Protocol Independent Multicast) に関する情報を表示する。

パラメーター

BSRCANDIDATE (PIM-SM のみ) C-BSR (ブートストラップルーター候補) としての設定を表示する。

CONFIG PIM の設定をスクリプト形式で表示する。

COUNTERS PIM インターフェースにおけるパケット送受信統計を表示する。

DEBUG 現在有効になっているデバッグオプションを表示する。

INTERFACE PIM インターフェースの情報を表示する。

NEIGHBOUR 同一サブネットにある PIM ルーター (隣接ルーター) の情報を表示する。

ROUTE PIM の経路表を表示する。

RPCANDIDATE (PIM-SM のみ) C-RP (ランデブーポイント候補) としての設定を表示する。PIM-DM
では RP を使わないので無効。

RPSET (PIM-SM のみ) RP セットの情報を表示する。

TIMER PIM タイマーの設定値を表示する。

入力・出力・画面例

```
PIM-DM 使用時

Manager > show pim config

#
#PIM4 configuration
#
add pim interface=vlan1 mode=dense
add pim interface=vlan100 mode=dense
enable pim

Manager > show pim counters

PIM4 Counters
-----
Dense Mode
```

```

-----
vlan1:

inHello ..... 0          outHello ..... 11
inGraft ..... 0          outGraft ..... 0
inGraftAck ..... 0        outGraftAck ..... 0
inJP ..... 0             outJP ..... 0
inAssert ..... 0         outAssert ..... 0
inSRM ..... 0            outSRM ..... 0
inUnknown ..... 0        outTotal ..... 11
inTotal ..... 0

vlan1 Bad:
    badHello ..... 0
    badGraft ..... 0
    badGraftAck ..... 0
    badJP ..... 0
    badAssert ..... 0
    badSRM ..... 0
    badUnknown ..... 0
    badTotal ..... 0

vlan100:

inHello ..... 11         outHello ..... 12
inGraft ..... 0          outGraft ..... 0
inGraftAck ..... 0        outGraftAck ..... 0
inJP ..... 2             outJP ..... 2
inAssert ..... 0         outAssert ..... 0
inSRM ..... 0            outSRM ..... 0
inUnknown ..... 0        outTotal ..... 14
inTotal ..... 13

vlan100 Bad:
    badHello ..... 0
    badGraft ..... 0
    badGraftAck ..... 0
    badJP ..... 0
    badAssert ..... 0
    badSRM ..... 0
    badUnknown ..... 0
    badTotal ..... 0

-----

Manager > show pim debug

PIM4 Debug Options
-----

Debug Options Enabled: Hello

```

Manager > show pim interface

PIM4 Sparse mode Interface Table

Info (1097060): Nothing to display.

PIM4 Dense mode Interface Table

```
Interface ..... vlan1
  IP address ..... 192.168.1.1
  State refresh capable ..... No
  Hello interval ..... 30

Interface ..... vlan100
  IP address ..... 192.168.100.1
  State refresh capable ..... No
  Hello interval ..... 30
```

Manager > show pim neighbour

PIM4 Sparse mode Neighbour Table

Info (1097060): Nothing to display.

PIM4 Dense mode Neighbour Table

```
Interface ..... vlan100
  IP Address ..... 192.168.100.2
  Neighbour Liveness Timer ..... 95
  Neighbour Up Time ..... 170
  Is state refresh capable ..... No
```

Manager > show pim route

PIM4 Sparse Mode Tree Information Base

Info (1097060): Nothing to display.

PIM4 Dense Mode Tree Information Base

```
Source ..... 192.168.1.16
Group ..... 239.1.2.3
  RPF Neighbour to Src ..... Directly connected
  RPF Interface to Src ..... vlan1
  Source Alive time ..... 180
  Expiry time ..... 200
```



```

    Prune override time ..... 0
    Prune limit time ..... 0
    Immediate output interfaces .. vlan100

Source ..... 192.168.10.200
Group ..... 239.1.2.100
  RPF Neighbour to Src ..... 192.168.100.2
  RPF Interface to Src ..... vlan100
  Keep Alive time ..... 110
  Expiry time ..... 130
  Prune override time ..... 0
  Prune limit time ..... 0
  Immediate output interfaces .. vlan100

Source ..... 192.168.10.200
Group ..... 239.1.2.120
  RPF Neighbour to Src ..... 192.168.100.2
  RPF Interface to Src ..... vlan100
  Keep Alive time ..... 170
  Expiry time ..... 190
  Prune override time ..... 0
  Prune limit time ..... 30
  Immediate output interfaces .. vlan100

```

Manager > show pim timer

PIM4 Timers

```

-----
Join/Prune interval ..... 60
Register probe time ..... 5
Register suppression time ..... 60
Keep Alive time ..... 210
BSM interval ..... 60
RP adv interval ..... 60
Prune hold time ..... 210
Source Alive time ..... 210
State refresh interval ..... 60

```

PIM-SM 使用時

Manager > show pim bsrcandidate

PIM4 BSR Candidate

```

-----
Preference ..... 1
Hash mask length ..... 30
BSR State ..... Elected BSR
  Elected BSR IP address ..... 192.168.1.1
  Elected BSR preference ..... 1
  Elected BSR hash mask length ..... 30

```

Manager > show pim bsrcandidate

PIM4 BSR Candidate

```
-----
Preference ..... 1
Hash mask length ..... 30
BSR State ..... Candidate BSR
  Elected BSR IP address ..... 192.168.10.1
  Elected BSR preference ..... 200
  Elected BSR hash mask length ..... 30
```

Manager > show pim config

```
#
#PIM4 configuration
#
add pim interface=vlan1
add pim interface=vlan100
add pim bsrcandidate
add pim rpcandidate group=239.1.2.0 mask=255.255.255.0
enable pim
```

Manager > show pim config

```
#
#PIM4 configuration
#
add pim interface=vlan1
add pim interface=vlan100
enable pim
```

Manager > show pim counters

PIM4 Counters

Sparse Mode

```
-----
vlan1:
  inHello ..... 0          outHello ..... 7
  inRegister ..... 0        outRegister ..... 0
  inRegisterStop ..... 0     outRegisterStop ..... 0
  inJP ..... 0              outJP ..... 0
  inAssert ..... 0          outAssert ..... 0
  inBSM ..... 0             outBSM ..... 5
  inCRPAdv ..... 0          outCRPAdv ..... 0
  inUnknown ..... 0         outTotal ..... 12
  inTotal ..... 0

vlan1 Bad:
  badHello ..... 0
  badRegister ..... 0
```

```

badRegisterStop ..... 0
badJP ..... 0
badAssert ..... 0
badBSM ..... 0
badCRPAdv ..... 0
badUnknown ..... 0
badTotal ..... 0

vlan100:
  inHello ..... 8      outHello ..... 8
  inRegister ..... 0    outRegister ..... 0
  inRegisterStop ..... 0 outRegisterStop ..... 0
  inJP ..... 0          outJP ..... 0
  inAssert ..... 0      outAssert ..... 0
  inBSM ..... 5         outBSM ..... 1
  inCRPAdv ..... 0      outCRPAdv ..... 0
  inUnknown ..... 0     outTotal ..... 9
  inTotal ..... 13

vlan100 Bad:
  badHello ..... 0
  badRegister ..... 0
  badRegisterStop ..... 0
  badJP ..... 0
  badAssert ..... 0
  badBSM ..... 0
  badCRPAdv ..... 0
  badUnknown ..... 0
  badTotal ..... 0

-----

Manager > show pim debug

PIM4 Debug Options
-----

Debug Options Enabled: Hello

Logging Options Enabled : All

Trapping Options Enabled: None

Manager > show pim interface

PIM4 Sparse mode Interface Table
-----
Interface ..... vlan1
  IP address ..... 192.168.1.1
    DR election by ..... DR priority
    DR priority ..... 1

```

```

    DR winner ..... Me
    Hello interval ..... 30

Interface ..... vlan100
    IP address ..... 192.168.100.1
    DR election by ..... DR priority
    DR priority ..... 1
    DR winner ..... 192.168.100.2
    Hello interval ..... 30

PIM4 Dense mode Interface Table
-----

Info (1097060): Nothing to display.

Manager > show pim neighbour

PIM4 Sparse mode Neighbour Table
-----

Interface ..... vlan100
    IP Address ..... 192.168.100.2
    DR Priority ..... 1
    Neighbour Liveness Timer ..... 95

PIM4 Dense mode Neighbour Table
-----

Info (1097060): Nothing to display.

Manager > show pim route

PIM4 Sparse Mode Tree Information Base
-----

Group ..... 239.1.2.3
    Type ..... (*,G)
    RP Address ..... 192.168.10.1
    RPF Neighbour to RP ..... 192.168.100.2
    RPF Interface to RP ..... vlan100
    Expiry time ..... 630
    Join/prune time ..... 0
    Immediate output interfaces .. None

    Type ..... (S,G)
    Source ..... 192.168.1.16
    RPF Neighbour to Src ..... Directly connected
    RPF Interface to Src ..... vlan1
    Expiry time ..... 230
    Keepalive time ..... 210

```

```

Join/prune time ..... 0
Register time ..... 44
SPT bit ..... Set
Inherited output interfaces .. vlan100
Immediate output interfaces .. vlan100

Type ..... (S,G,rpt)
Source ..... 192.168.1.16
RP Address ..... 192.168.10.1
RPF Neighbour to RP ..... 192.168.100.2
RPF Interface to RP ..... vlan100
Expiry time ..... 230
Override time ..... 0
Inherited output interfaces .. None

Type ..... (*,*,RP)
RP Address ..... 192.168.10.1
Next hop to RP ..... 192.168.100.2
RPF Interface to RP ..... vlan100
Join/prune time ..... 0
Expiry time ..... 210
Immediate output interfaces .. None

```

PIM4 Dense Mode Tree Information Base

Info (1097060): Nothing to display.

Manager > show pim rpcandidate

PIM4 RP Candidate

```

Priority ..... 192
Interface ..... local1
Group address/Mask ..... 239.1.2.0 / 255.255.255.0

```

Manager > show pim rpset (RP 動的決定時)

PIM4 Static RP Mapping

Info (1097058): No Static RP Set currently available or configured.

PIM4 RP Set Information

```

Group address/Mask ..... 239.1.2.0 / 255.255.255.0
RP Candidate address ..... 192.168.10.1
Priority ..... 192

```

Manager > show pim rpset (RP 静的設定時)

PIM4 Static RP Mapping

```

RP Address ..... 192.168.100.2
Group address/Mask ..... 239.255.0.0 / 255.255.255.0

```

PIM4 RP Set Information

```

Info (1097058): No RP Set currently available or configured.

```

```

Manager > show pim timer

```

PIM4 Timers

```

Join/Prune interval ..... 60
Register probe time ..... 5
Register suppression time ..... 60
Keep Alive time ..... 210
BSM interval ..... 60
RP adv interval ..... 60
Prune hold time ..... 210
Source Alive time ..... 210
State refresh interval ..... 60

```

Preference	BSR (ブートストラップルーター) 優先度。大きいほど BSR になる可能性が高い。BSR に選出されたときだけ表示される
Hash mask length	未サポート
BSR State	BSR の状態。Elected BSR (現在 BSR に選出されている) \ Accepts Preferred BSR (BSR ではない) のいずれか
Elected BSR IP address	BSR の IP アドレス
Elected BSR preference	BSR の優先度
Elected BSR hash mask length	未サポート

表 23: BSR CANDIDATE オプション (PIM-SM のみ)

inHello	Hello メッセージ受信数
inGraft	Graft メッセージ受信数
inGraftAck	GraftAck メッセージ受信数
inJP	Join/Prune メッセージ受信数
inAssert	Assert メッセージ受信数
inSRM	State Refresh メッセージ受信数
inUnknown	未サポート
inTotal	PIM メッセージ受信総数

outHello	Hello メッセージ送信数
outGraft	Graft メッセージ送信数
outGraftAck	GraftAck メッセージ送信数
outJP	Join/Prune メッセージ送信数
outAssert	Assert メッセージ送信数
outSRM	State Refresh メッセージ送信数
outTotal	PIM メッセージ送信総数
badHello	受信した Hello メッセージのうちエラーがあったものの数
badGraft	受信した Graft メッセージのうちエラーがあったものの数
badGraftAck	受信した GraftAck メッセージのうちエラーがあったものの数
badJP	受信した Join/Prune メッセージのうちエラーがあったものの数
badAssert	受信した Assert メッセージのうちエラーがあったものの数
badSRM	未サポート
badUnknown	未サポート
badTotal	受信した PIM メッセージのうちエラーがあったものの総数

表 24: COUNTERS オプション (PIM-DM の場合)

inHello	Hello メッセージ受信数
inRegister	Register メッセージ受信数
inRegisterStop	Register Stop メッセージ受信数
inJP	Join/Prune メッセージ受信数
inAssert	Assert メッセージ受信数
inBSM	Bootstrap メッセージ受信数
inCRPAdv	Candidate-RP-Advertisement メッセージ受信数
inUnknown	未サポート
inTotal	PIM メッセージ受信総数
outHello	Hello メッセージ送信数
outRegister	Register メッセージ送信数
outRegisterStop	Register Stop メッセージ送信数
outJP	Join/Prune メッセージ送信数
outAssert	Assert メッセージ送信数
outBSM	Bootstrap メッセージ送信数
outCRPAdv	Candidate-RP-Advertisement メッセージ送信数
outTotal	PIM メッセージ送信総数
badHello	受信した Hello メッセージのうちエラーがあったものの数
badRegister	受信した Register メッセージのうちエラーがあったものの数
badRegisterStop	受信した Register Stop メッセージのうちエラーがあったものの数
badJP	受信した Join/Prune メッセージのうちエラーがあったものの数
badAssert	受信した Assert メッセージのうちエラーがあったものの数

badBSM	受信した Bootstrap メッセージのうちエラーがあったものの数
badCRPAdv	受信した Candidate-RP-Advertisement メッセージのうちエラーがあったものの数
badUnknown	未サポート
badTotal	受信した PIM メッセージのうちエラーがあったものの総数

表 25: COUNTERS オプション (PIM-SM の場合)

Debug Options Enabled	現在有効なデバッグオプション一覧
Logging Options Enabled	現在有効なロギングオプション (PIM-SM でのみ有効)
Trapping Options Enabled	現在有効な SNMP トラップオプション (PIM-SM でのみ有効)

表 26: DEBUG オプション (PIM-DM・PIM-SM 共通)

Interface	PIM インターフェース
IP Address	インターフェースの IP アドレス
State refresh capable	(未サポート) State Refresh メッセージの送受信が可能かどうか
Hello interval	Hello メッセージの送信間隔 (秒)

表 27: INTERFACE オプション (PIM-DM の場合)

Interface	PIM インターフェース
IP Address	インターフェースの IP アドレス
DR election by	DR の選出方法。DR priority (DR 優先度) か IP address (IP アドレス) のどちらか
DR priority	DR 優先度。LAN 上の DR (代表ルーター) を決定するときに用いられる。大きいほど DR になる可能性が高い
DR winner	DR の IP アドレス。「me」は該当インターフェースが DR であることを示す
Hello interval	Hello メッセージの送信間隔 (秒)

表 28: INTERFACE オプション (PIM-SM の場合)

Interface	隣接ルーターが存在するインターフェース
IP Address	隣接ルーターの IP アドレス
Neighbour Liveness Timer	エントリが削除されるまでの時間
Neighbour Up Time	隣接ルーターの生存時間
Is state refresh capable	(未サポート) 隣接ルーターが State Refresh メッセージに対応しているかどうか

表 29: NEIGHBOUR オプション (PIM-DM の場合)

Interface	隣接ルーターが存在するインターフェース
-----------	---------------------

IP Address	隣接ルーターの IP アドレス
DR Priority	隣接ルーターの DR 優先度
Neighbour Liveness Timer	エントリーが削除されるまでの時間

表 30: NEIGHBOUR オプション (PIM-SM の場合)

Source	マルチキャストトラフィックの送信元 IP アドレス
Group	マルチキャストグループアドレス。マルチキャストトラフィックの終点アドレス
RPF Neighbour to Src	送信者にもっとも近い隣接ルーター。Directly connected は、送信者が本製品直下に存在することを示す
RPF Interface to Src	送信者にもっとも近いインターフェース
Keep Alive time	Keepalive タイマー。0 はデータ受信中でないためタイマーが稼働していないことを示す
Source Alive time	Alive タイマー。Keepalive タイマーと同じ意味だが、送信者が本製品直下に存在する場合に適用される
Expiry time	エントリーが削除されるまでの時間(秒)。Expiry time = Keep Alive time あるいは Source Alive time + 20 となる
Prune override time	Prune override タイマー。依然としてデータを受信したい状況において、上流インターフェース上で Prune メッセージを検出した場合、本タイマー満了を待って Join メッセージを送信する。0 はタイマーが稼働していないことを示す
Prune limit time	Prune limit タイマー。本タイマーが満了するまでは Prune メッセージの送信を抑制する
Immediate output interfaces	メンバー (ルーターまたはホスト) が存在する下流インターフェースの一覧

表 31: ROUTE オプション (PIM-DM の場合)

Group	マルチキャストグループアドレス。マルチキャストトラフィックの終点アドレス
Type	エントリー種別（以下、Type ごとに表示項目を説明）
(*,G) エントリー	
任意の送信者（*）から特定のグループ（G）へのトラフィック	
RP Address	RP（ランデブーポイント）の IP アドレス
RPF Neighbour to RP	RP にもっとも近い隣接ルーター
RPF Interface to RP	RP にもっとも近いインターフェース
Expiry time	エントリーが削除されるまでの時間（秒）。0 はタイマーが稼働していないことを示す。このタイマーは、(S,G) エントリーがないときにだけ減算される
Join/prune time	Join/prune タイマー。RPT（共有 RP 木。Rendezvous Point Tree）経由でデータを受信したい状況において、上流インターフェース上で Prune メッセージを検出した場合、本タイマー満了を待って Join メッセージを送信する。0 はタイマーが稼働していないことを示す
Immediate output interfaces	メンバー（ルーターまたはホスト）が存在する下流インターフェースの一覧
(S,G) エントリー	
特定の送信者（S）から特定のグループ（G）へのトラフィック	
Source	送信者の IP アドレス
RPF Neighbour to Src	送信者にもっとも近い隣接ルーター。Directly connected は、送信者が本製品直下に存在することを示す
RPF Interface to Src	送信者にもっとも近いインターフェース
Expiry time	エントリーが削除されるまでの時間（秒）。0 はタイマーが稼働していないことを示す。Expiry time = Keepalive time + 20 となる
Keepalive time	Keepalive タイマー。0 はデータ受信中でないためタイマーが稼働していないことを示す
Join/prune time	Join/prune タイマー。SPT（最短経路木。Shortest Path Tree）経由でデータを受信したい状況において、上流インターフェース上で Prune メッセージを検出した場合、本タイマー満了を待って Join メッセージを送信する。0 はタイマーが稼働していないことを示す
Register time	Register Suppression タイマー。このタイマーの値が 0 になると、RP に Null Register メッセージが送信される
SPT bit	SPT を利用した転送が行われているかどうか。set（行っている）か unset（行っていない）のどちらか
Inherited output interfaces	下流インターフェースの一覧
Immediate output interfaces	メンバー（ルーターまたはホスト）が存在する下流インターフェースの一覧

(S,G,rpt) エントリー	
RPT を経由して、特定の送信者 (S) から特定のグループ (G) に送られるトラフィック	
Source	送信者の IP アドレス
RP Address	RP (ランデブーポイント) の IP アドレス
RPF Neighbour to RP	RP にもっとも近い隣接ルーター
RPF Interface to RP	RP にもっとも近いインターフェース
Expiry time	エントリーが削除されるまでの時間 (秒)。Expiry time = (S,G) の Keepalive time + 20 となる
Override time	Override タイマー。RPT 経由でデータを受信したい状況において、上流インターフェース上で Prune メッセージを検出した場合、本タイマー満了を待って Join メッセージを送信する。0 はタイマーが稼働していないことを示す
Inherited output interfaces	RPT 経由で (S,G) データを必要としている下流インターフェースの一覧
(*,*,RP) エントリー	
他のマルチキャスト経路制御プロトコルを使用しているネットワークとのデータ交換に関するエントリー	
RP Address	RP (ランデブーポイント) の IP アドレス
Next hop to RP	ユニキャスト経路表から判断して RP にもっとも近いルーター
RPF Interface to RP	RP にもっとも近いインターフェース
Join/prune time	Join/prune タイマー。RPT (共有 RP 木。Rendezvous Point Tree) 経由でデータを受信したい状況において、上流インターフェース上で Prune メッセージを検出した場合、本タイマー満了を待って Join メッセージを送信する。0 はタイマーが稼働していないことを示す
Expiry time	エントリーが削除されるまでの時間 (秒)
Immediate output interfaces	メンバー (ルーターまたはホスト) が存在する下流インターフェースの一覧

表 32: ROUTE オプション (PIM-SM の場合)

Priority	RP 優先度。小さいほど RP (ランデブーポイント) になる可能性が高くなる
Interface	C-RP として広告するときの IP アドレスを持つインターフェース。設定時のみ表示される
Group address/Mask	マルチキャストグループアドレス/ネットマスク

表 33: RPCANDIDATE オプション (PIM-SM のみ)

PIM4 Static RP Mapping	静的に設定された RP の情報。静的設定をしていないときは「No Static RP Set currently available or configured.」と表示され、「RP Address」、 「Group address/Mask」は表示されない。
------------------------	---

RP Address	静的に設定された RP (ランデブーポイント) の IP アドレス
Group address/Mask	マルチキャストグループアドレス/ネットマスク
PIM4 RP Set Information	動的に決定された (される) RP の情報。動的設定をしていないときは「No RP Set currently available or configured.」と表示され、「Group address/Mask」、「RP Candidate address」、「Priority」は表示されない。
Group address/Mask	マルチキャストグループアドレス/ネットマスク
RP Candidate address	該当グループの C-RP (RP 候補) の IP アドレス
Priority	C-RP の優先度。小さいほど RP (ランデブーポイント) になる可能性が高くなる

表 34: RPSET オプション (PIM-SM のみ)

Join/Prune Interval	Join/Prune メッセージの送信間隔 (秒)
Register probe time	Register Stop メッセージの有効期限 (秒)
Register suppression time	送信者側 DR (代表ルーター) が RP に Null Register メッセージを送信する間隔 (秒)
Keep Alive time	データトラフィックがなくなってから、(S,G) の Join 状態を削除するまでの時間 (秒)
BSM interval	ブートストラップメッセージ (BSM) の送信間隔 (秒)
RP adv interval	Candidate-RP-Advertisement メッセージの送信間隔 (秒)
Prune hold time	上流ルーターに指示する Prune 状態の保持時間 (秒)
Source Alive time	データトラフィックがなくなってから、State Refresh Originator がアクティブでなくなるまでの時間 (秒)
State refresh interval	State Refresh メッセージの送信間隔 (秒)

表 35: TIMER オプション (PIM-DM・PIM-SM 共通)

関連コマンド

ADD PIM BSRCANDIDATE (36 ページ)
 ADD PIM INTERFACE (37 ページ)
 ADD PIM RPCANDIDATE (39 ページ)
 DELETE PIM BSRCANDIDATE (50 ページ)
 DELETE PIM INTERFACE (51 ページ)
 DELETE PIM RPCANDIDATE (52 ページ)
 DISABLE PIM (64 ページ)
 DISABLE PIM DEBUG (65 ページ)
 ENABLE PIM (75 ページ)
 ENABLE PIM DEBUG (76 ページ)
 RESET PIM INTERFACE (80 ページ)
 SET PIM (90 ページ)

SET PIM INTERFACE (93 ページ)

SET PIM LOG (95 ページ)

SHOW IP (「IP」の 423 ページ)